

VDRH-700 / VDRH-700EX

本体操作説明書-統合版

(Ver2.0.2)

株式会社 オンテック

改訂履歴

改定日	改訂番号	改訂ページ	改訂内容
2008/11/06	1. 0. 0		新規作成
2008/11/14	1. 1. 0		本体メニュー操作追加
2008/12/16	1. 2. 0		TC チェイス機能追加。修正箇所追記。
2009/02/12	1. 3. 0		目次の追加。INHI 操作、MENU 操作、リブート操作追記。
2009/03/06	1. 4. 0	P26	FORMAT ボタン長押し注意追記
2009/09/03	1. 5. 0	P33	ADMIN MENU の呼び出し方。数値の増減方法。
2009/11/24	1. 5. 1	P21	フロントパネル画像の変更 操作説明を補足・追記 主なメニュー設定とその操作を追加
2009/12/23	1. 5. 2		TCC 表記部分に注釈を加え、標準版と TCC 版とを統合。
2010/02/10	1. 6. 0		TC1. 30 の機能を追加
2010/06/22	1. 6. 1	P11 P18	Ver. 1. 22 に対応 Variable 再生の速度表示を%に変更 ラストシーン削除の説明変更 それに伴い、フォーマットとラストシーン削除の操作に関する 注意を 13 項の後に移動し修正
2010/08/21	2. 0. 0	P22 P22 P9 P11 P13 P14 P24 P25 P25 P26～	Ver. 1. 22 への対応時の変更不足分の修正 「メニューの表示方法」を修正 「ADMIN MENU の表示方法」を修正 Ver. 2. 00 に対応 「3. 電源の切り方」を追加 以降 項目 No を順送り 9 行目 再生開始点の注意を追加 9 行目 再生開始点の注意を追加 「1 1. 収録ポイントの即時再生」を追加 以降 項目 No を順送り 「8) 422 からの収録ポイントの即時呼び出し」を追加 「9) 422-2 からの収録操作」を追加 「10) 422-2 からの収録 TC Mark」を追加 MENU を変更・追加・修正 USER MENU を変更 SYSTEM2 を削除 (ADMIN の SYSTEM3 へ移動) AUDIO を変更 MUTE SOUND を変更 REC MODE を変更 (一部 RS422/ADMIN の SYSTEM3 への移動) PB MODE を変更 (一部 RS422 への移動・GANG MODE の削除) CUEUP SCENE の移動・修正 PLAY TYPE 2 の変更 (REC PNT の追加)

			RS422 を追加(該当項目を移動) JOG SETTING を変更 RS422 REC(元の RS422 REC STOP)を変更 TIME CODE を変更 TIME CODE MODE に項目を追加 ADMIN MENU を変更 SYSTEM3 を変更・MODE の削除
2010/09/23	2.0.1	P12	Ver. 2.00 への対応時の変更不足分の修正 FF/REW の速度変化値を変更 Variable 再生の速度変化値を変更
2010/12/13	2.0.2	P27 P60	USER MENU-SYSTEM-HD OSD DISPLAY に「HH:SS:DD」を補完 ADMIN MENU-DISK-RECOVER SCENE を削除

～目次～

1.	電源投入前の準備	8
2.	電源投入	8
3.	電源の切り方	9
4.	収録開始	9
5.	収録停止	10
6.	再生 / STILL(一時停止) / 停止	11
7.	早送り (FF)/巻き戻し (REW)	12
8.	Variable 再生	12
9.	フレーム送り・戻し	12
10.	追っかけ再生	13
11.	収録ポイントの即時再生	14
12.	録画しながら別のシーンを再生	15
13.	ループ収録	16
14.	フロントパネルからの CUE UP	17
15.	ディスクの初期化 (フォーマット)	19
16.	ラストシーン削除	19
17.	エラーメッセージのクリア	20
18.	KEY INHIBIT / REC INHIBIT	21
19.	強制リブート	21
20.	本体メニュー操作	22
1.)	メニューの表示方法	22
2.)	ADMIN MENU の表示方法	22
3.)	選択操作について	22
4.)	主なメニュー設定とその操作	23
1.)	REF 設定	23
2.)	タイムコード設定	23
3.)	HD-OSD 表示設定	23
4.)	SYSTEM PHASE の設定	23
5.)	コンプレス	24
6.)	Cue Up TC の検索方法の変更	24
7.)	422 からの STOP 動作の設定	24
8.)	422 からの収録ポイントの即時呼び出し	24
9.)	422-2 からの収録操作	25
10.)	再生中の 422-2 からの収録 TC Mark	25
5.)	USER MENU	26
5.) - 1	USER MENU - SYSTEM	26
5.) - 1. - 1	USER MENU - SYSTEM - HD OSD DISPLAY 1	27
5.) - 1. - 2	USER MENU - SYSTEM - HD OSD DISPLAY 2	27
5.) - 1. - 3	USER MENU - SYSTEM - HD OSD DISPLAY 3	28
5.) - 1. - 4	USER MENU - SYSTEM - HD OSD DISPLAY 4	28

5.) - 1. - 5	USER MENU - SYSTEM - IP ADDRESS.....	29
5.) - 1. - 6	USER MENU - SYSTEM - MONITOR OUTPUT.....	29
5.) - 1. - 7	USER MENU - SYSTEM - SYNC TYPE.....	30
5.) - 2	USER MENU - AUDIO.....	31
5.) - 2. - 1	USER MENU - AUDIO - HEADPHONE CH.....	31
5.) - 2. - 2	USER MENU - AUDIO - HEADPHONE LEVEL.....	32
5.) - 2. - 3	USER MENU - AUDIO - LIP SYNC.....	32
5.) - 2. - 4	USER MENU - AUDIO - MUTE SOUND.....	33
5.) - 3	USER MENU - REC MODE.....	34
5.) - 3. - 1	USER MENU - REC MODE - REC LOOP TIME.....	34
5.) - 3. - 2	USER MENU - REC MODE - REC TYPE.....	35
5.) - 4	USER MENU-PB MODE.....	36
5.) - 4. - 1	USER MENU - PB MODE - CUEUP SCENE.....	36
5.) - 4. - 2	USER MENU - PB MODE - PLAY TYPE 1.....	37
5.) - 4. - 3	USER MENU - PB MODE - PLAY TYPE 2.....	37
5.) - 4. - 4	USER MENU - PB MODE - SYSTEM PHASE.....	38
5.) - 4. - 5	USER MENU - PB MODE - TCC MODE.....	39
5.) - 5	USER MENU - RS-422.....	40
5.) - 5. - 1	USER MENU - RS422 - FF/REW MAX SPEED.....	40
5.) - 5. - 2	USER MENU - RS422 - SHUTTLE MAX SPEED.....	41
5.) - 5. - 3	USER MENU - RS422 - JOG SETTING.....	41
5.) - 5. - 4	USER MENU - RS422 - RS422 REC.....	42
5.) - 5. - 5	USER MENU - RS422 - RS422 PB STOP.....	42
5.) - 5. - 6	USER MENU - RS422 - RS422 SCENE JUMP.....	43
5.) - 5. - 7	USER MENU - RS422 - SELECTION ON EE.....	43
5.) - 6	USER MENU - DISK.....	44
5.) - 6. - 1	USER MENU - DISK - COMPRESS.....	44
5.) - 6. - 2	USER MENU - DISK - DELETE ALL.....	45
5.) - 6. - 3	USER MENU - DISK - DELETE SELECT.....	45
5.) - 6. - 4	USER MENU - DISK - FORMAT.....	46
5.) - 7	USER MENU - TIME CODE.....	47
5.) - 7. - 1	USER MENU - TIME CODE - DROP FRAME.....	47
5.) - 7. - 2	USER MENU - TIME CODE - PRESET TIME.....	48
5.) - 7. - 3	USER MENU - TIME CODE - TIME CODE MODE.....	48
6.)	ADMIN MENU.....	49
6.) - 1	ADMIN MENU - SYSTEM 1.....	49
6.) - 1. - 1	ADMIN MENU - SYSTEM 1 - DATE TIME.....	50
6.) - 1. - 2	ADMIN MENU - SYSTEM 1 - DIAGNOSTICS.....	50
6.) - 1. - 3	ADMIN MENU - SYSTEM 1 - MON OSD DISPLAY 1.....	51
6.) - 1. - 4	ADMIN MENU - SYSTEM 1 - MON OSD DISPLAY 2.....	51
6.) - 1. - 5	ADMIN MENU - SYSTEM 1 - PASSWORD.....	52

6.) - 2	ADMIN MENU - SYSTEM 2.....	53
6.) - 2. - 1	ADMIN MENU - SYSTEM 2 - SET DEFAULT.....	53
6.) - 2. - 2	ADMIN MENU - SYSTEM 2 - SHOW ERROR LOG.....	54
6.) - 2. - 3	ADMIN MENU - SYSTEM 2 - SHOW OP LOG.....	54
6.) - 2. - 4	ADMIN MENU - SYSTEM 2 - SHOW VERSION.....	55
6.) - 2. - 5	ADMIN MENU - SYSTEM 2 - VIDEO TYPE.....	55
6.) - 3	ADMIN MENU - SYSTEM 3.....	56
6.) - 3. - 1	ADMIN MENU - SYSTEM 3 - CLEAR LOG.....	56
6.) - 3. - 2	ADMIN MENU - SYSTEM 3 - DEVICE TYPE.....	57
6.) - 3. - 3	ADMIN MENU - SYSTEM 3 - DOWNLOAD.....	57
6.) - 3. - 4	ADMIN MENU - SYSTEM 3 - ALWAYS ADMIN.....	58
6.) - 3. - 5	ADMIN MENU - SYSTEM 3 - RS422 PROTOCOL.....	58
6.) - 3. - 6	ADMIN MENU - SYSTEM 3 - HD INPUT CHECK.....	59
6.) - 4	ADMIN MENU - DISK.....	60
6.) - 4. - 1	ADMIN MENU - DISK - LOCK DELETE.....	60
2 1.	タイムコードチェイスモードについて（別売オプション）	61
1.)	STAND ALONE MODE	61
2.)	MASTER/SLAVE MODE	63

1. 電源投入前の準備

○AC 電源を接続して下さい。

○HD-SDI 入力信号を接続して下さい。

○BB 同期信号を接続して下さい。

○OUT2(super)に、HD モニタを接続して下さい。 ○Monitor(super)に、NTSC モニタを接続して下さい。

※アプリケーション PC の接続については、それぞれの資料をご参照下さい。

VDRH-700 シリーズには、FS 機能は搭載していません。

BB 同期で使用する場合は、同期した映像を入力して下さい。

非同期入力を使用する場合は、SDI 同期で使用してください。


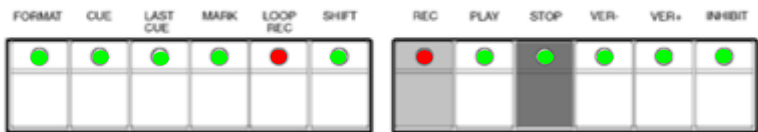

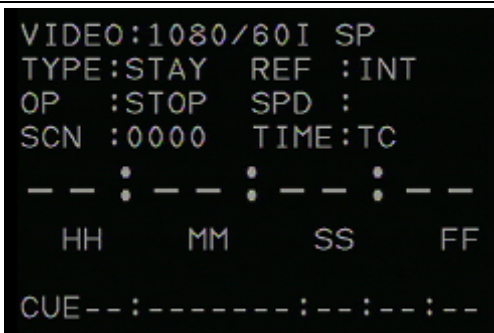
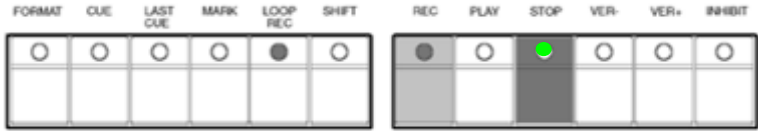
BB 同期ではご使用になれません。

2. 電源投入

① 背面パネル POWER スイッチを ON にします。(700EX の場合、2 つとも ON にして下さい。)

○Monitor Out 画面(NTSC)に次のように表示されます。

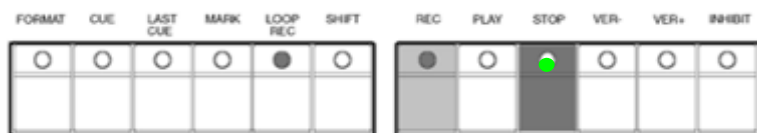
起動状態の表示推移

Monitor Out 画面(NTSC)	フロントパネルの操作ボタン
 <p>[オープニングメッセージ]</p>	 <p>フロントパネルの LED が全て点灯します</p>
 <p>[初期化中画面]</p>	 <p>しばらく処理が進むと、フロントパネルが全て消灯します。</p> <p>※表示されるメッセージは、バージョンにより多少異なります。</p>
 <p>[起動完了/EE 画面]</p>	 <p>STOP ボタンの LED が点灯した状態になります。</p>

○この状態で、フロントパネルからの操作が可能になります。

3. 電源の切り方

○電源を切るときは、収録・再生が共に停止していることを確認してください。



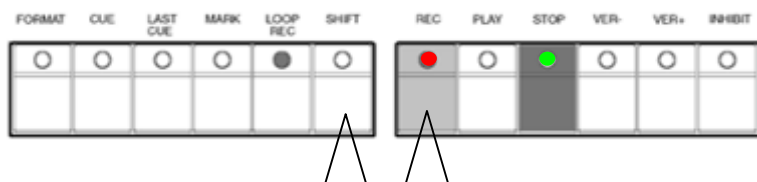
※停止状態のフロントパネル

○背面パネルの POWER スイッチを OFF (o 側) にします。(700EX の場合、2 つとも OFF にして下さい。)

4. 収録開始

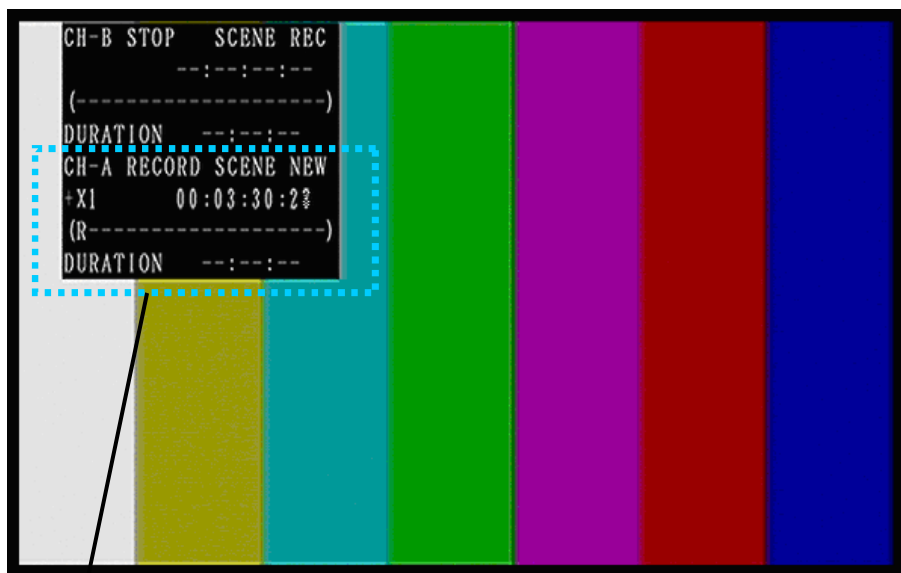
●収録を開始します。

① SHIFT ボタンを押しながら、REC ボタンを押すと収録状態になります。



○収録中は、REC の LED が点灯します。

[HD-OSD※の表示]



※OSD とは : On Screen Display の略で、この場合、HD 映像上の情報表示のことを指します。

○状態が STOP から RECORD になります。

○収録している TC が表示されます。

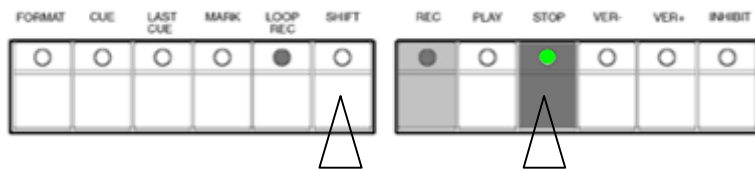
○デュレーションインジケータに” R ” のマークが表示されます。

※メニュー設定により、HD-OSD の表示は異なります。

5. 収録停止

●収録を停止します。

① SHIFT ボタンを押しながら STOP ボタンを押します。



○REC LED が点滅後、消灯します。

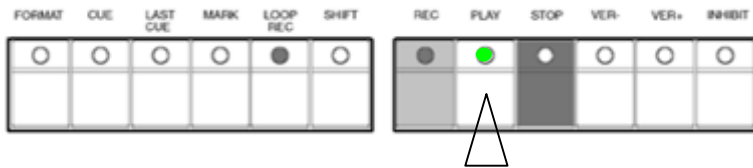


○シーン番号が1つ増えます。

6. 再生 / STILL(一時停止) / 停止

●再生をします。(通常再生・追っかけ再生とも、操作に違いはありません。)

①PLAY ボタンを押します。

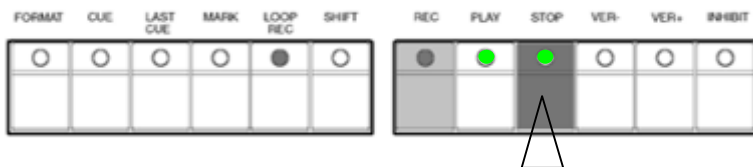


○PLAY LED が点灯します。

※再生開始点は、「USER MENU⇒PB MODE⇒PLAY TYPE2」の設定や、CH-A の状態によって異なります。

●再生を一時停止します。(通常再生・追っかけ再生とも、操作に違いはありません。)

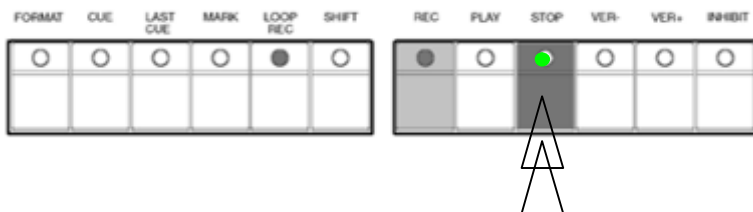
① STOP ボタンを押します。



○STOP LED が点灯して、再生が一時停止します。この状態でPLAY を押すと、再び、再生を始めます。

●再生を停止します。(通常再生・追っかけ再生とも、操作に違いはありません。)

① STOP ボタンを2回押します。(STILL 状態からは、1回押します。)

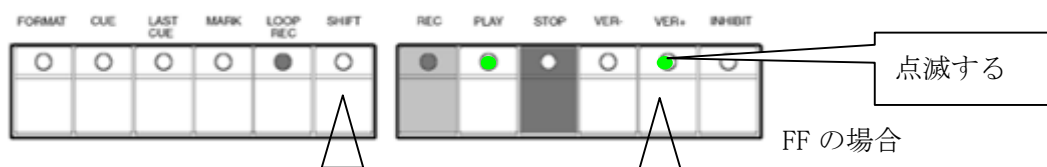


○STILL の状態を介して、再生停止状態になります。

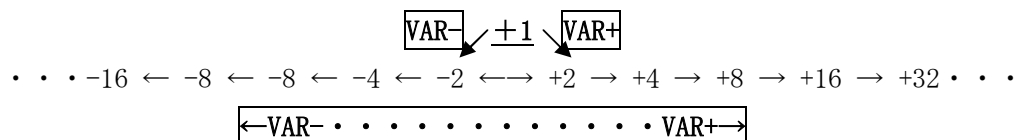
○PLAY のLED が消灯し、STOP LED が点灯します。

7. 早送り (FF)/巻き戻し (REW)

- ① PLAY 中に、SHIFT ボタンを押しながら VAR+/VAR-ボタンを押すと早送り/巻き戻しができます



○それぞれの操作により、



と、再生速度が変化します。

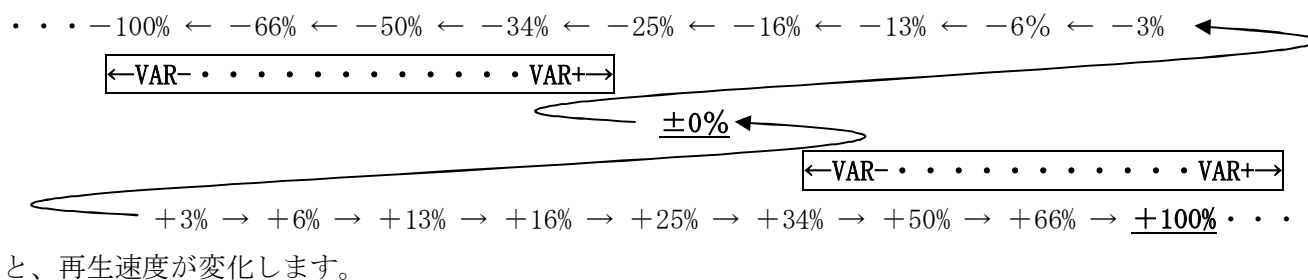
8. Variable 再生

- 再生状態から、Variable 再生が出来ます。

- ① PLAY 中(または、PAUSE 中)に、順方向の場合 VAR+ボタンを押します。 逆方向の場合 VAR-ボタンを押します。



○それぞれの操作により、



と、再生速度が変化します。

9. フレーム送り・戻し

- 再生停止状態 (STILL) からコマ送り (フレーム送り) ができます。

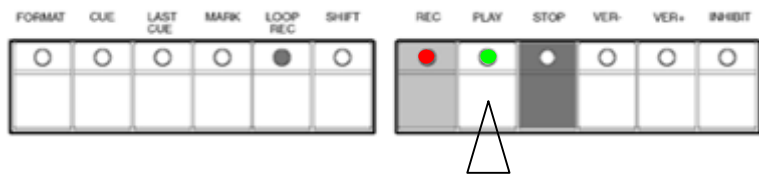
- ① STILL 状態にします。
② VAR+ボタンで順方向、VAR-ボタンで逆方向にコマ送りします。



10. 追っかけ再生

●録画中の素材を再生します。

- ① 録画を開始します。
- ② PLAY ボタンを押します。



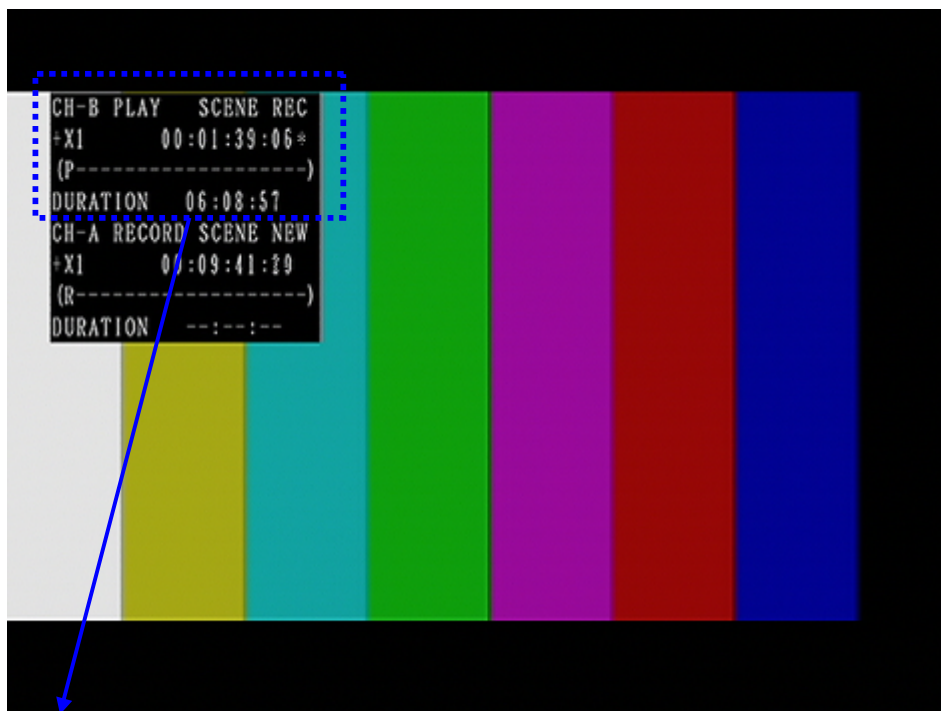
○REC と PLAY の LED が点灯します。

※再生開始点は、「USER MENU⇒PB MODE⇒PLAY TYPE2」の設定によって異なります。

補足) 収録を開始した時に、他のシーンを再生していた場合

再生を停止した後に、シーンを選択する必要があります。

再生停止状態で VAR+ をおして、HD-OSD の SCENE 表示が “REC” になるまで押して下さい。



- 再生側の状態が STOP から PLAY に変わります。
- 現在再生している TC が表示されます。
- デュレーションインジケータに” P ” のマークが表示されます。

1 1. 収録ポイントの即時再生

●収録中シーンの収録ポイントを呼び出して再生します。(最小時差 1 秒 ※1 秒時差対応オプションが必要です。)

① 下記のようにメニュー設定をします。

○USER MENU⇒PB MODE⇒PLAY TYPE2 : REC PNT

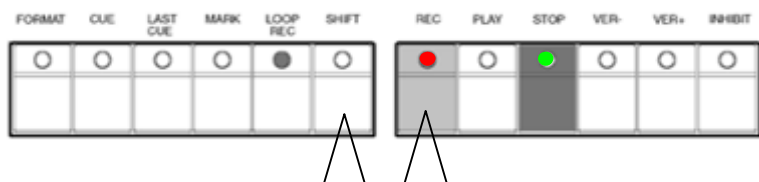
; CURRENT = カレントシーンが収録中シーンの場合は収録ポイントを、それ以外のシーンの場合は、最後に停止したポイント呼び出します (FROM STOP と同様の動作)。

ALL = カレントシーンがどのシーンでも、収録中シーンの収録ポイント呼び出します。

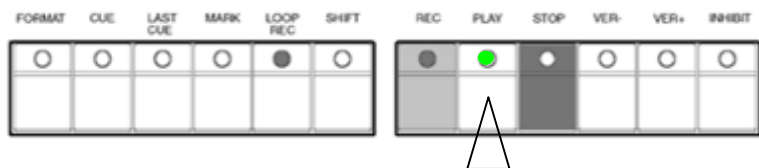
; OFFSET = 任意の値に設定します。

※カレントシーン: 最後に再生されたシーン。ただし、収録開始操作直後は、収録中シーンがカレントになります。

② SHIFT+REC ボタンを押して、収録を開始します。



③ PLAY ボタンを押して、再生を開始します。



※STILL 状態から PLAY した場合は、そのポイントから再生します。必ず、停止状態から PLAY 操作をして下さい。

補足) REC PNT の OFFSET 設定について

収録の TC に OFFSET 値を計算した値で頭だしを行ない、再生を開始します。

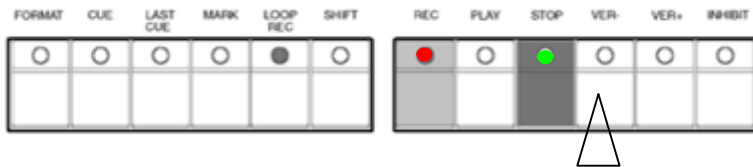
リアクション時間の補正や、簡易的なプリロールとして使用します。

再生開始点の OFFSET 値を設定するもので、再生時差を設定するものではありません。

1 2. 録画しながら別のシーンを再生

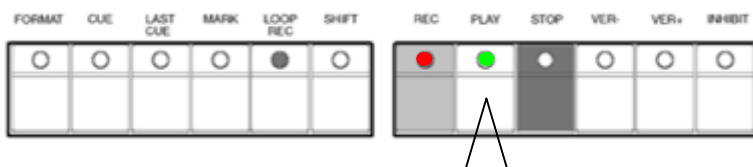
●収録中に、収録しているシーン以外を再生します。

- ① 収録を開始します。再生は停止状態にして下さい。
- ② VAR-ボタンを押します。



○再生シーン No. が戻ります。(戻しすぎた場合は、VAR+ボタンを押します。)

- ③ PLAY ボタンを押します。

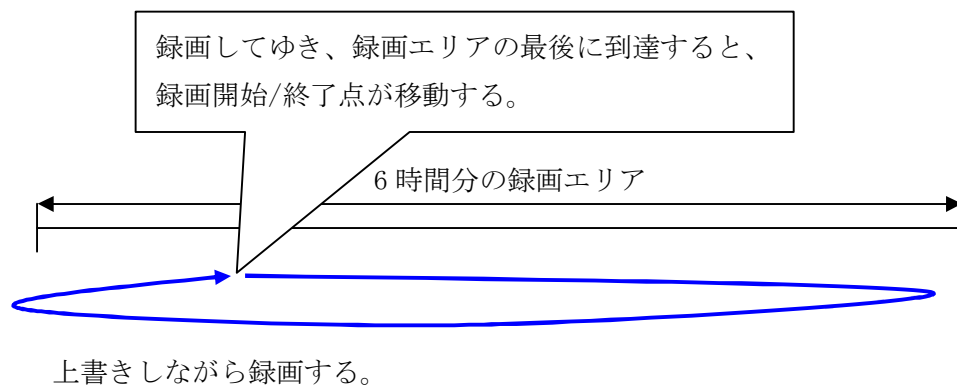


○選択されたシーンが再生されます。

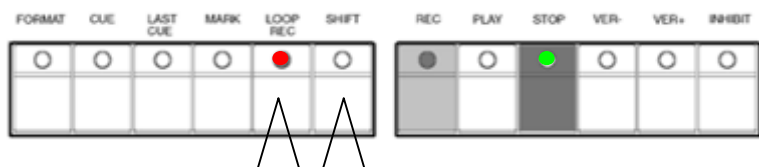
13. ループ収録

●任意の時間※分を録画して一杯まで記録した後は、古いものから上書きしてゆく収録方法です。

※ディスクの制限容量以上の時間は、設定できません。



① SHIFT ボタンを押しながら LOOP REC ボタンを押します。



○LOOP REC の LED が点灯します。

○ループ収録中のシーンも追いかけて再生ができます。

○ループ収録を停止する操作は、通常収録の停止と同様に「SHIFT+STOP」です。

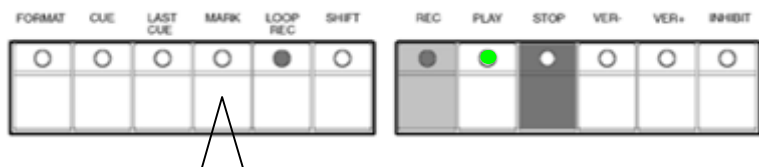
○LOOP REC LED が点滅後、消灯します。

○設定した収録時間以下で停止した場合は、通常シーンとして管理されます。

1 4. フロントパネルからの CUE UP

- VDRH-700 では、フロントパネルから CUE UP することができます。
- CUE UP ポイント数は 10 点です。

- ① 任意のシーンを PLAY します。
- ② MARK ボタンを押して、一時記憶します。



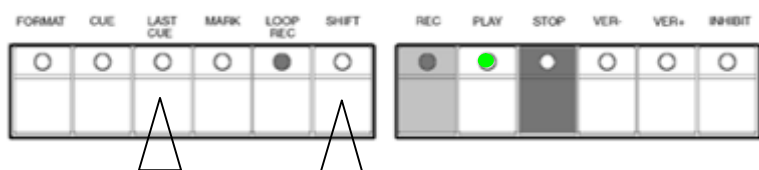
[Monitor Out の画面]



- MARK に CUE UP DATA が登録された様子です。
- 0001 シーンの TC 00:30:23:26 が、CUE ポイントの 0 1 番に登録されています。

- CUE 点を選択する。

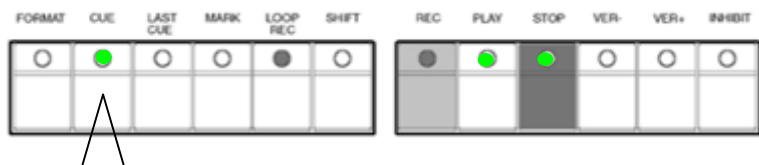
- ① SHIFT ボタンを押しながら、LAST CUE ボタンを押します。



- SHIFT+LAST CUE を押すと、CUE02→CUE01→CUE10→・・・ とサイクル表示します。

●CUE UP する。

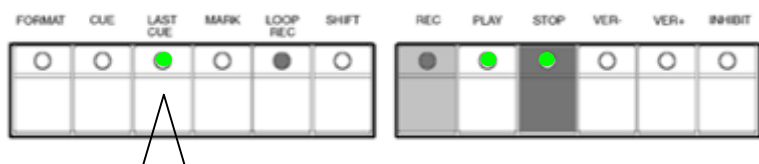
① CUE ボタンを押します。



○CUE UP して STILL になります。

●ワンタッチで、最後に登録した CUE に CUE UP します。

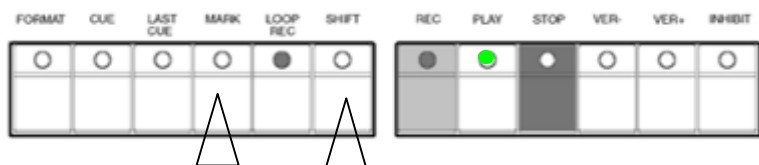
① LAST CUE ボタンを押します。



○最後（最新）の CUE ポイント(CUE03)に CUE UP します。

●全ての CUE をクリアします。（個別にはクリアできません。）

① SHIFT ボタンを押しながら、MARK ボタンを押します。



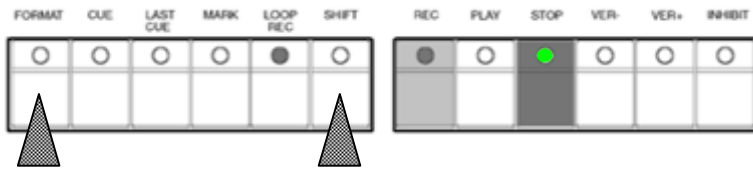
○全ての CUE がクリアされます。

15. ディスクの初期化（フォーマット）

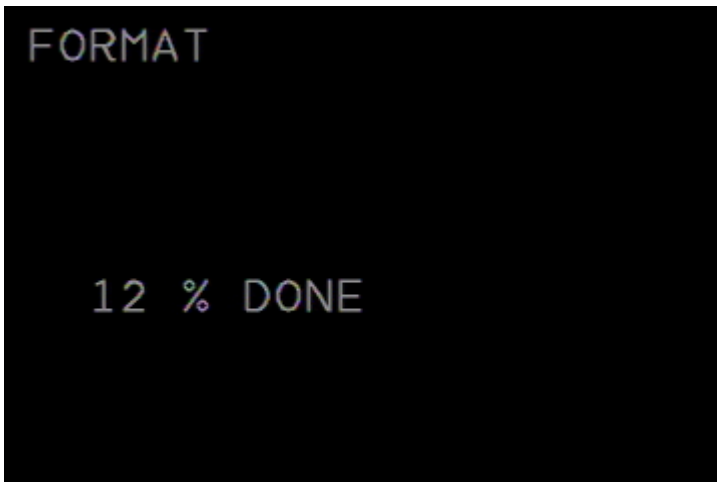
●VDRH に記録されている素材を全て削除します。

収録も再生も、停止している必要があります。

① SHIFT ボタンを押しながら FORMAT ボタンを押して 5 秒間押し続けます。



[FORMAT 中の画面]



○進捗状況が表示され、処理が完了すると起動完了時の画面に戻ります。

注意！！

本体バージョンによっては、「ディスクの初期化（フォーマット）：SHIFT+FORMAT キー」と、「ラストシーン削除：FORMAT 長押し」の動作が入れ替わっているものがあります。（初期バージョンの仕様）

フォーマットが行なわれても問題のない状態で一度お試し頂くか、弊社サポートまでお問い合わせ下さい。

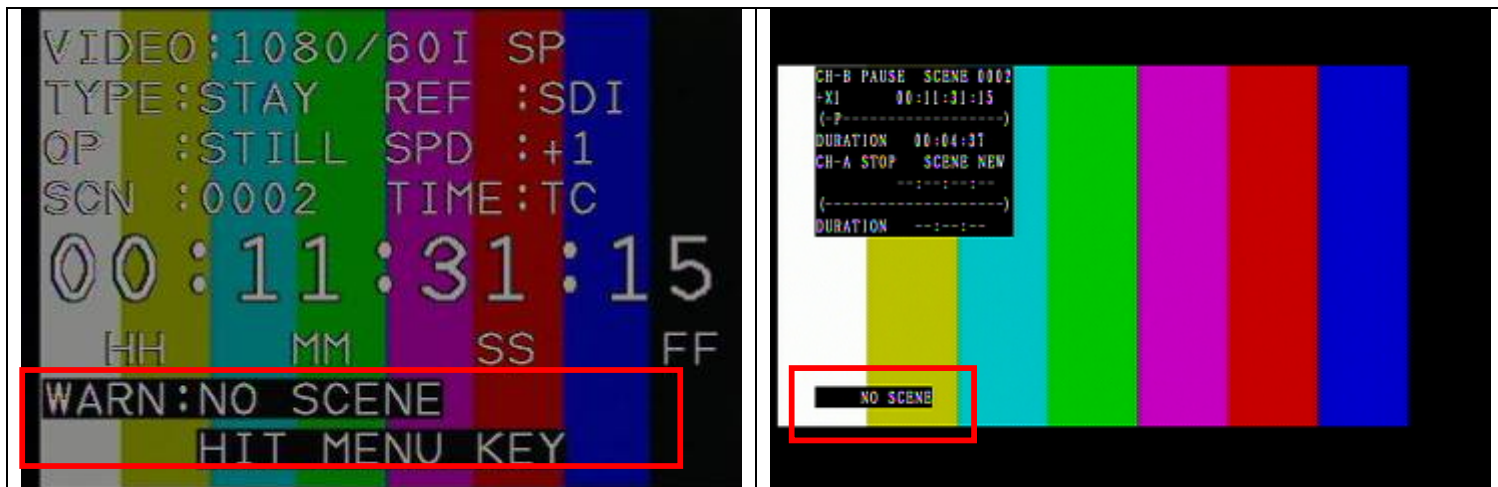
16. ラストシーン削除

本バージョンでは、この操作は削除されました。

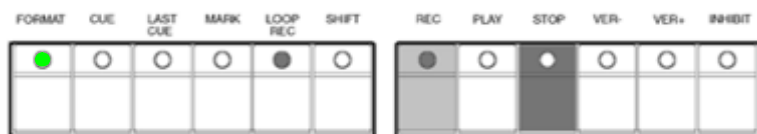
17. エラーメッセージのクリア

●本体で発生したエラーメッセージをクリアします。

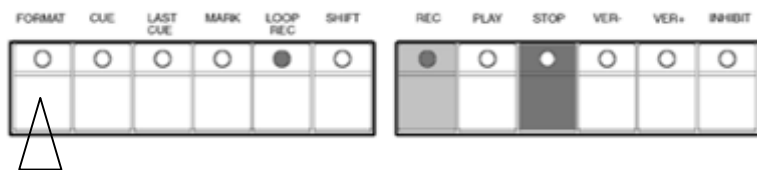
○VDRH-700 本体でエラーが発生した場合、Monitor Out(super)かHD-SDI Out2(super)に、エラーメッセージが表示されます。



○上記状態の時、FORMAT LED が点灯します。



① FORMAT ボタンを一度だけ押します。



○エラーメッセージがクリアされ FORMAT LED が消灯します。

○複数のエラーが同時に発生している、一つをクリアすると、再度、点灯しメッセージが表示されます。

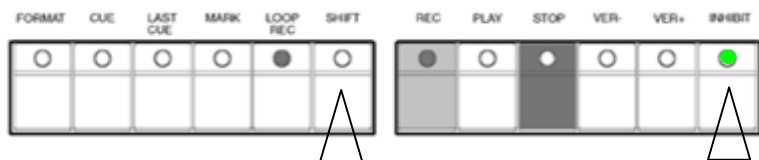
※本体バージョンによっては、長押しすると、ラストシーンの削除(もしくは、フォーマット)が行なわれる危険がありますのでご注意ください。

18. KEY INHIBIT / REC INHIBIT

○すべての操作、もしくは録画操作を無効にする機能です。

●KEY INHIBIT をかけます。全ての操作を無効にします。

① SHIFT ボタン+INHIBIT ボタンを押します。



○INHIBIT LED が点灯します。

※メニュー操作は、この状態から行ないます。「本体メニュー操作」の項をご覧ください。

○その状態で、再度 SHIFT ボタン+INHIBIT ボタンを押すと、INHIBIT が解除されます。

●REC INHIBIT をかけます。収録を開始できなくなります。

① INHIBIT ボタンを、3 秒間長押しします。



○INHIBIT LED が点滅します。

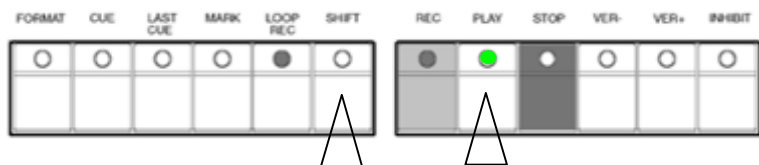
○この状態では、録画操作が無効になります。(SHIFT+REC 操作)

○その状態で、再度 INHIBIT ボタンを3 秒間長押しすると、REC INHIBIT が解除されます。

19. 強制リブート

●再生側で送出映像に異常があった場合、強制リブートによりデコーダーのリセットをかけます。

① 再生中に、SHIFT ボタン+PLAY ボタンを押します。



○再生側で強制リブートがかかり、送出映像が1～2 秒乱れます。

○リブートが完了すると、そのまま再生を続けます。

20. 本体メニュー操作



1.) メニューの表示方法

KEY INHIBIT 状態で、CUE ボタン を押すとメニューモードになります。

※MENU モードに入ると、基本動作に関する操作が全て不能になります。

※KEY INHIBIT のかけ方は、「KEY INHIBIT / REC INHIBIT」をご覧ください。

○USER MENU => ユーザーで設定する内容です。

○ADMIN MENU => システム構築に関するメニューです。

○個体のシリアル番号が表示されます。

2.) ADMIN MENU の表示方法

「ADMIN MENU⇒SYSTEM3⇒ALWAYS ADMIN」を“OFF”に変更した状態で電源を切ってしまうと、次回以降の起動時には、ADMIN MENU が表示されません。

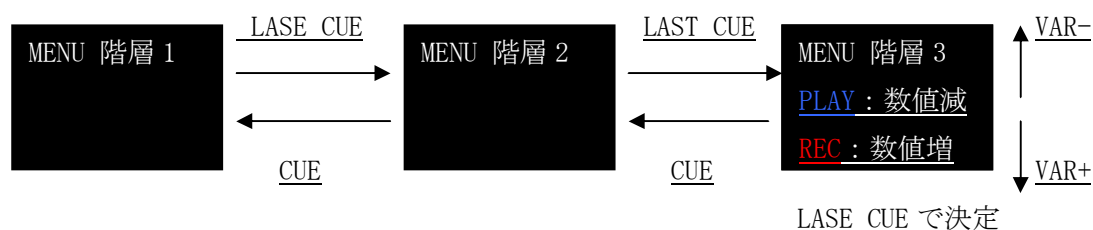
ADMIN MENU を呼び出すには、「REC」「PLAY」「LAST CUE」の3つのキーを押したまま、本体を起動し、起動が完了するまで押し続けて下さい。

ADMIN MENU を呼び出して本体を起動した場合、本体を再起動するまで、非表示にすることは出来ません。

3.) 選択操作について

●プロンプトの下移動は VAR+キー、上移動は VAR-キー 選択したモードに入るのは LASE CUE キー 上の階層に戻るのは、CUE キーで行います。最下層での決定は LASE CUE キーで行います。

数値の増減設定のあるメニューでは、REC キーで数値増、PLAY キーで数値減します。



●メニューモードを抜けるには、MENU の TOP 画面で CUE ボタンを押します。

また、メニューモードのどの階層にいても、SHIFT ボタン + INHI ボタンを押すと、メニューモードから抜けると同時に、KEY INHIBIT も解除されます。

4.) 主なメニュー設定とその操作

1.) REF 設定

REF 信号を選択します。

「USER MENU⇒SYSTEM⇒SYNC TYPE」から設定して下さい。

2.) タイムコード設定

TIME CODE の外部 TC/内部 TC モードを切り替えます。

内部 TC モードの場合に、INTERNAL/FREERUN/REC RUN を切り替えます。

FREERUN/REC RUN の場合に、ドロップフレーム/ノンドロップフレームを切り変えます。

FREERUN/REC RUN の場合の PRESET TIME を設定します。

「USER MENU⇒TIME CODE⇒・・・」から設定して下さい。

<FREERUN/REC RUN の PRESET 方法>

「USER MENU⇒TIME CODE⇒PRESET TIME」から設定します。

数字が表示されているところに、任意の TC を入力し(入力方法は、前頁をご覧ください。)、 “SET” にプロンプトを合わせて LAST CUE ボタンを押下します。

<Internal の PRESET 方法>

INTERNAL モードの TC は、本機内部時計 (REAL TIME CLOCK) を

使用しています。従って、内部時計の年月日と時刻で変更 (プリセット) します。

「ADMIN MENU⇒SYSTEM⇒DATE TIME」から VDRH の内部時計を設定します。

「USER MENU⇒TIME CODE⇒TIME CODE MODE」を、“Internal” に設定します。

(先に “Internal” になっていた場合、一度別のモードを選択 (プロンプトを合わせて Last CUE 押下) した後、再度 “Internal” に設定して下さい。)

この時計は、ログの時間としても使用していますので、本体の設置直後に設定し、その後は、変更されないことを推奨します。

3.) HD-OSD 表示設定

HD-SDI OUT 2 (Super) に表示される内容を設定します。

表示 CH (REC UNIT/PLAY UNIT) の切り替えや、大きさ、位置などもこのメニューから設定します。

「USER MENU⇒SYSTEM⇒HD OSD DISPLAY #」から設定して下さい。

4.) SYSTEM PHASE の設定

SYSTEM PHASE をライン単位・クロック単位で調整できます。

「USER MENU⇒PB MODE⇒SYSTEM PAHSE」から設定して下さい。

5.) コンプレス

シーン単位で収録素材を削除し、その領域を新たな収録用の空き領域にするための操作です。

「USER MENU⇒DISK⇒DELETE SELECT」から、不要なシーンを選択します。

リストから、VAR- VAR+でシーン No. を選択し、LAST CUE キーの押下で、DELETE フラグのマーク、マーク解除を行います。フラグを立てると、“D” の表示になります。

このDマークのあるシーンが、コンプレスの対象となります。

「USER MENU⇒DISK⇒COMPRESS」を実行すると、不要なシーンが削除され、削除した分の記録可能時間が増えます。

※コンプレスは中断できませんので、実行する際は、作業時間に十分ご注意ください。

6.) Cue Up TC の検索方法の変更

422 コントローラなどから、Goto TC をする場合に、指定した TC を、

『先頭から (FROM FIRST) 検索するか』

『最後に再生した (Current) シーンから検索するか』を設定します。

「ADMIN MENU→MODE→CUE UP SCENE」で設定できます。

“FROM FIRST” に設定している時、同 TC が複数のシーンに存在する場合、一番シーン番号の小さいものに Cue Up されます。

7.) 422 からの STOP 動作の設定

422 コントローラから PB STOP/REC STOP の操作を行った時の動作を、次のように設定することが出来ます。

REC STOP について：

STOP (停止する)

IGNORE (操作を無視する)

PB STOP について：

STILL (一時停止)

STOP (停止する)

「USER MENU→RS422→RS422 REC STOP」 「USER MENU→RS422→RS422 PB STOP」 から設定できます。

8.) 422 からの収録ポイントの即時呼び出し

Ach が収録中で Bch が STOP の時、422 系コントローラで再生操作 (PLAY / VAR / JOG / SHUTTLE) をすると、現在の収録ポイントに頭だしすることが出来ます。(設定時は、パネルの PLAY も同様の動作をします)

「USER MENU⇒PB MODE⇒PLAY TYPE2」： REC PNT

； CURRENT = カレントシーンが収録中シーンの場合は収録ポイントを、それ以外のシーンの場合は、最後に停止したポイントと呼び出します (FROM STOP と同様の動作)。

ALL = カレントシーンがどのシーンでも、収録中シーンの収録ポイントと呼び出します。

※カレントシーン：最後に再生されたシーン。ただし、収録開始操作直後は、収録中シーンがカレントになります。

; OFFSET =この数値を設定すると、再生操作を行った収録 TC から、任意のフレーム数分ずらしたポイントを呼び出せます。(-150f(-5s)~+30(+1s)f)

※再生時差を指定するものではありません。

※1 秒時差対応オプション搭載の場合のみ

9.) 422-2 からの収録操作

DNF 社 ST-300 または、武蔵社 MDC-50Tb を使用した場合、Ach(422-1)へコントローラを接続しなくても、収録/収録停止操作を行うことができます。

「USER MENU⇒RS422⇒RS422 REC⇒422-2 REC」を“ON”に設定して下さい。

なお、収録開始/収録停止は、各コントローラの収録開始(REC)操作になります。

(収録中に収録開始(REC) 操作をすると収録停止になります。)

また、DNF 社 ST-300 を使用した場合、「同メニュー⇒422-2 REC FLG」を“ON”にすると、REC ボタンに収録ステータスが反映されます。

「422-2 REC FLG」を“ON”にするとコントローラによって正常に動作しない場合があります。正常に動作しない場合は、“OFF”でご使用下さい。

10.) 再生中の 422-2 からの収録 TC Mark

DNF 社 ST-300 を使用した場合、Bch を停止しなくても、コントローラ上の切り替え操作によって、収録 TC から Cue 点登録を行うことができます。

「USER MENU⇒RS422⇒SELECTION ON EE」を、“TCG OUT ON EE”に設定して下さい。

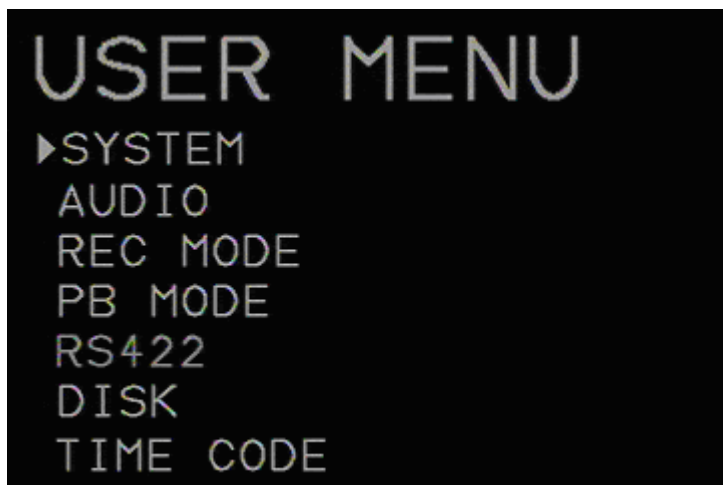
ST-300 の EE ボタンが点灯時は、収録 TC で Cue 点登録を行うことができます。消灯時は、再生 TC になります。

<主なコントローラと VDRH の機能>

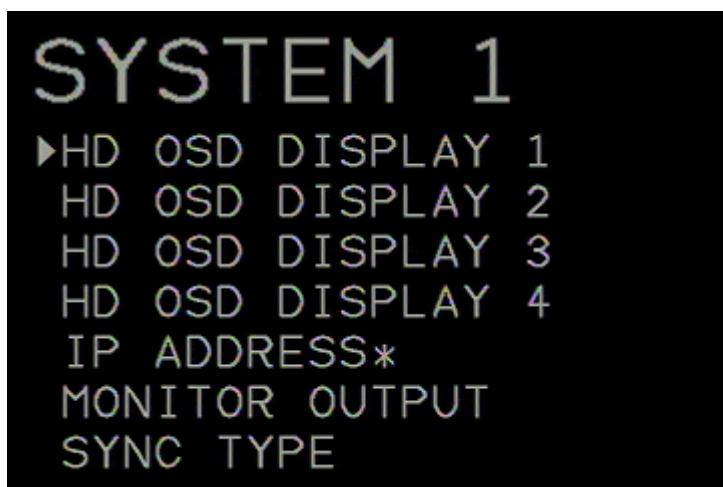
機能 \ コントローラ	DNF 社 ST-300	武蔵社 MDC-50Tb	SONY 社 DTR-3000
422-2 からの収録操作	可	可	不可
REC FLG の使用	可	不可	不可
収録 TC からの Mark	コントローラの EE 切替え (422 接続は <u>1 本</u>) または、Bch を停止する	カップリング機能を使用 し、ポートを切替え (422 接続は <u>2 本</u>) または、Bch を停止する	Bch を停止する

5.) USER MENU

●MAIN MENU から USER MENU 選択（プロンプト選択）、LAST CUE 押下で USER MENU になります。

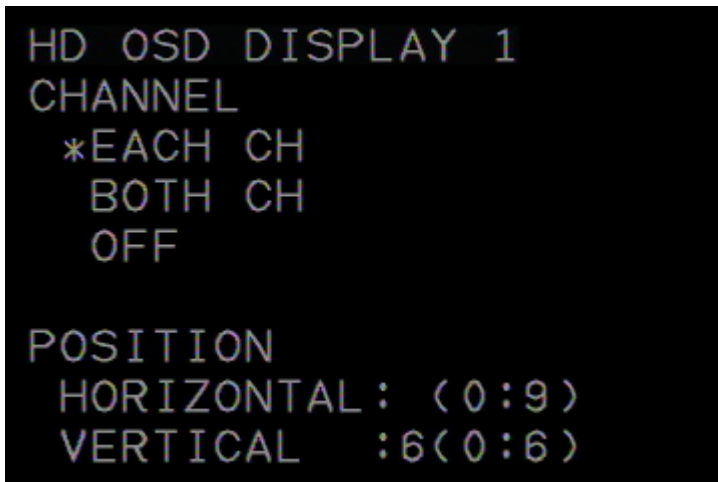


5.) - 1 USER MENU - SYSTEM



5.) - 1. - 1 USER MENU - SYSTEM - HD OSD DISPLAY 1

●HD SDI (SUPER) 出力の OSD (ON SCREEN DISPLAY) の設定をします。

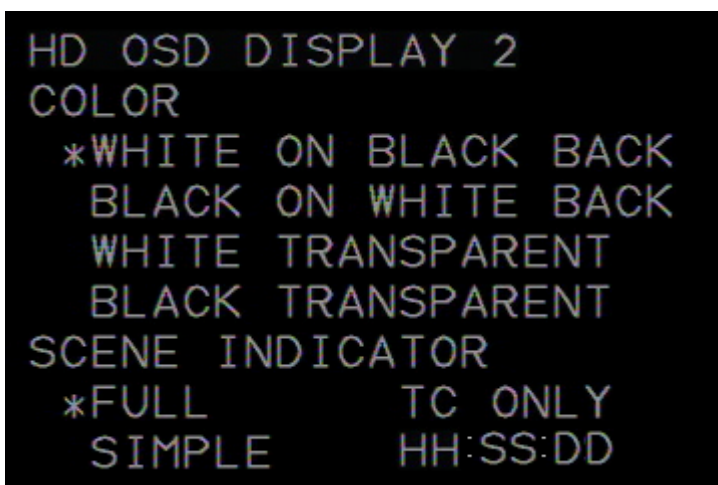


○CHANNEL => 記録、記録再生共、なしの設定です。なしの場合は送出として使用できます。

○POSITION => OSD を出す画面位置を指定します。(0,0)は左上隅です。

5.) - 1. - 2 USER MENU - SYSTEM - HD OSD DISPLAY 2

●HD SDI (SUPER) 出力の OSD (ON SCREEN DISPLAY) の文字、出力レイアウトを設定します。

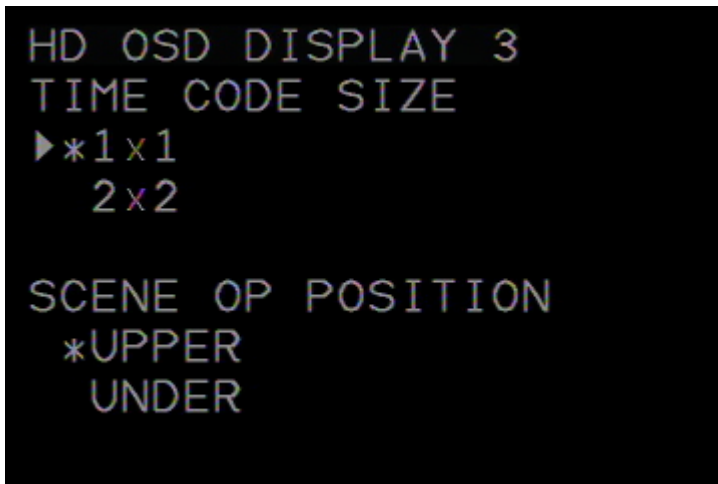


○COLOR => 黒バックに白文字、白バックに黒文字、透過バックで白文字、透過バックで黒文字が選択できます。

○SCENE INDICATOR => 全て、省略表示、TC のみ、時分秒表示の選択ができます。

5.) - 1. - 3 USER MENU - SYSTEM - HD OSD DISPLAY 3

●HD SDI (SUPER) 出力の OSD (ON SCREEN DISPLAY) の TC の文字の大きさと、インジケータの位置を設定します。

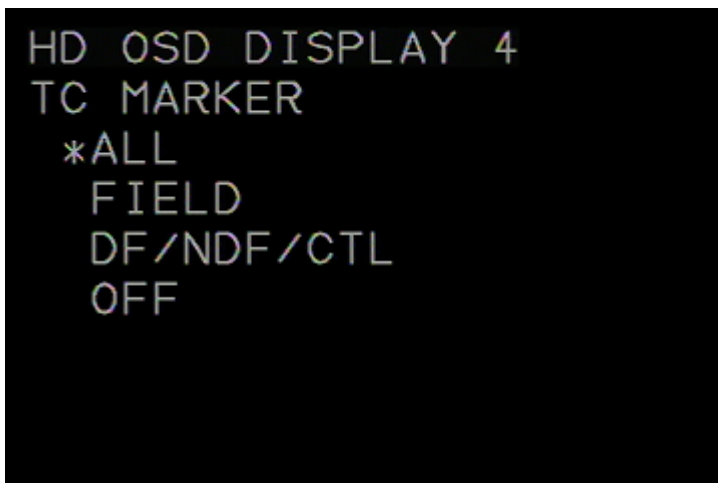


○TIME CODE SIZE => 1×1 : 通常の大きさです。 2×2 : 縦横 2 倍の大きさです。

○SCENE OP POSITION => タイムコードの表示位置の上下を設定します。

5.) - 1. - 4 USER MENU - SYSTEM - HD OSD DISPLAY 4

●フィールドマーカの表示を指定します。



○ALL => 全て表示します。

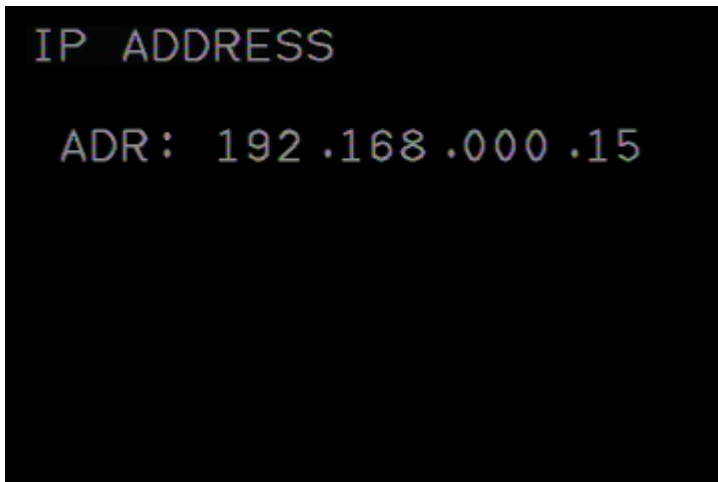
○FIELD => フィールドマーカを表示します。

○DF/NDF/CTL => ドロップフレーム、ノンドロップフレーム、シーテューエルを表示します。

○表示しません。

5.) - 1. - 5 USER MENU - SYSTEM - IP ADDRESS

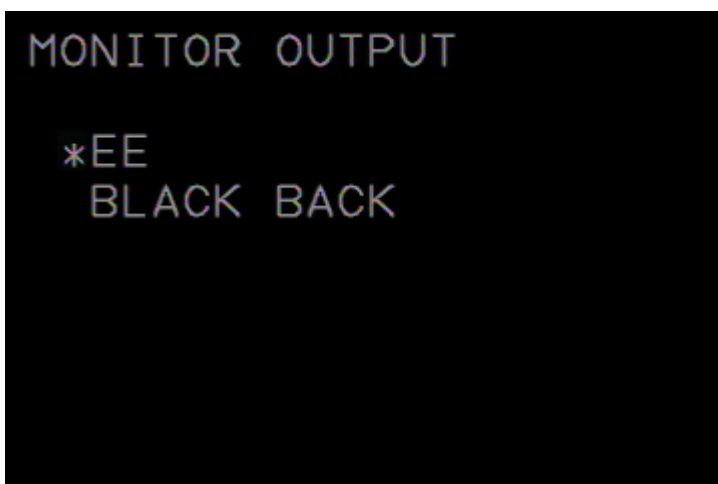
- 本体の IP アドレスを指定します。



- 設定範囲は、最下位 8 ビット部の 150～159 までです。
- REC キーで数値がインクリメント、PLAY キーで数値がデクリメントします。
- LAST CUE キーで確定、CUE キーで MAIN MENU を抜ける時に、電源を OFF するメッセージが表示されます。
- 電源再投入で新しい IP アドレスが有効になります。

5.) - 1. - 6 USER MENU - SYSTEM - MONITOR OUTPUT

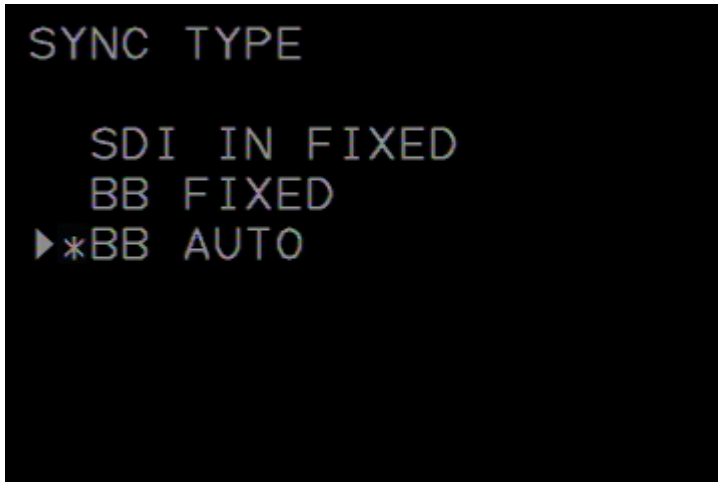
- 本体再生停止時に、HD-SDI OUT に何を出力するかを選択します。



- EE => HD-SDI 入力画像を出力します。
- BLACK BACK => 同相の黒画像を出力します。

5.) - 1. - 7 USER MENU - SYSTEM - SYNC TYPE

●外部リファレンスを選択します。



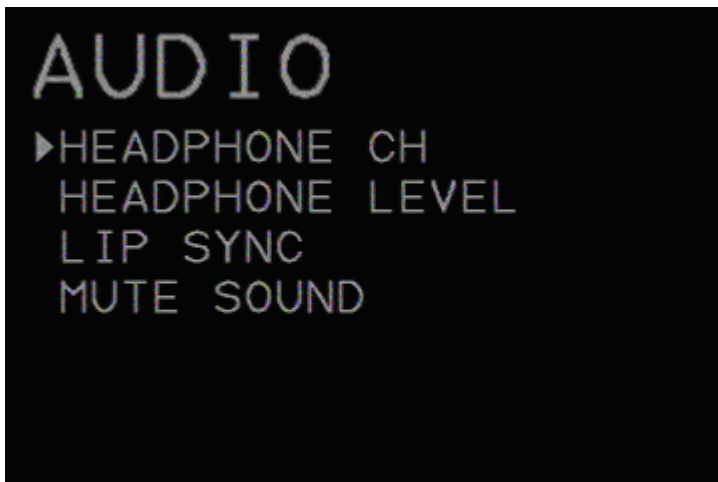
○SDI IN FIXED => 外部同期を持たない機器との接続にお使い下さい。SDI 入力にロックします。

○BB FIXED => BLACK BURST 信号のみにロックします。

○BB AUTO => BLACK BURST→SDI-IN →INTERNAL の順にロックします。

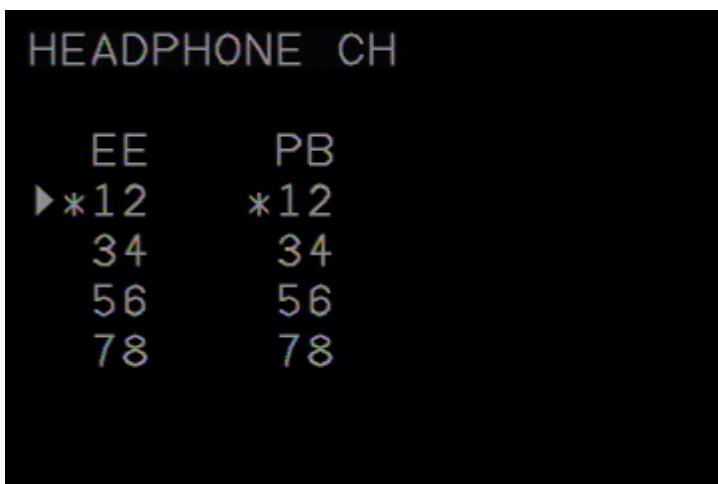
通常はこのモードでお使い下さい。

5.) - 2 USER MENU - AUDIO



5.) - 2. - 1 USER MENU - AUDIO - HEADPHONE CH

●フロントパネル右の PHONE 端子にどの音声を出力するかを設定します。



○EE の列 => 再生停止中に、Embedded Audio の 1/2 3/4 5/6 7/8 のいずれかを出力します。

○PB の列 => 再生中に、Embedded Audio の 1/2 3/4 5/6 7/8 のいずれかを出力します。

5.) - 2. - 2 USER MENU - AUDIO - HEADPHONE LEVEL

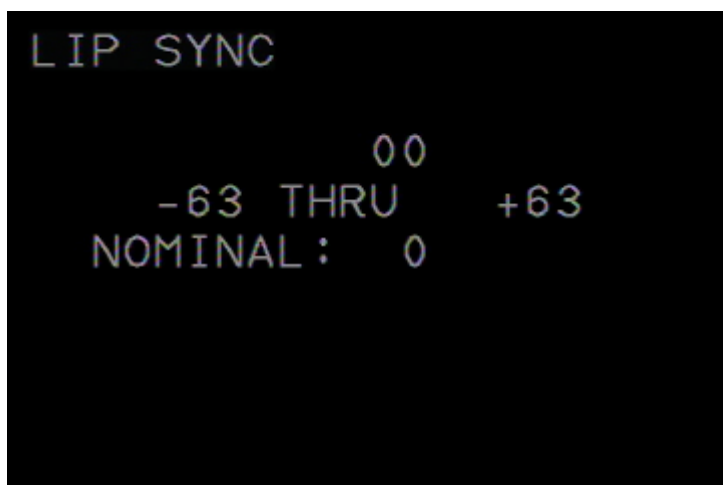
●HEAD PHONE の出力を設定します。



○REC キー(+) PLAY キー(-)で調整します。
※高い数値(5～9)は出力が高いため注意して下さい。

5.) - 2. - 3 USER MENU - AUDIO - LIP SYNC

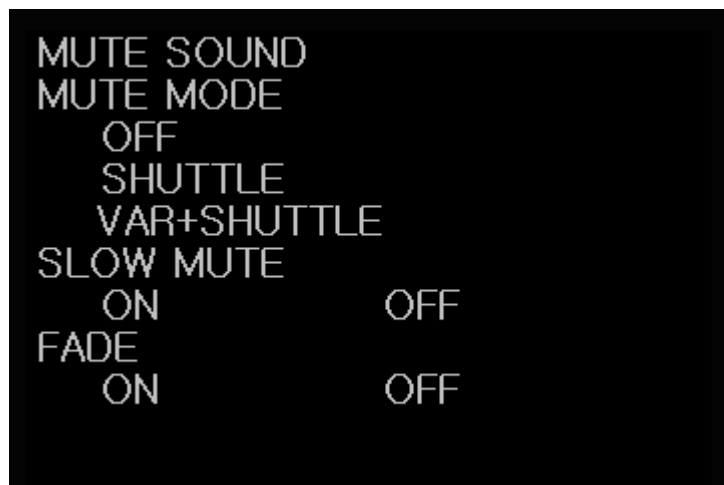
●映像と音声の再生時間を調整します。



○設定単位はフィールドです。1 フィールドは約 16.6msec です。

5.) - 2. - 4 USER MENU - AUDIO - MUTE SOUND

●スロー再生時の音声出力の設定をします。



○MUTE MODE⇒OFF : MUTE しません。 SHUTTLE : SHUTTLE 動作の時は MUTE します。

VAR+SHUTTLE : 全てのスロー動作の時に MUTE します。

○SLOW MUTE⇒ON の場合、MUTE MODE が “VAR+SHUTTLE” 設定以外であっても、±10%以下の速度の時は MUTE します。

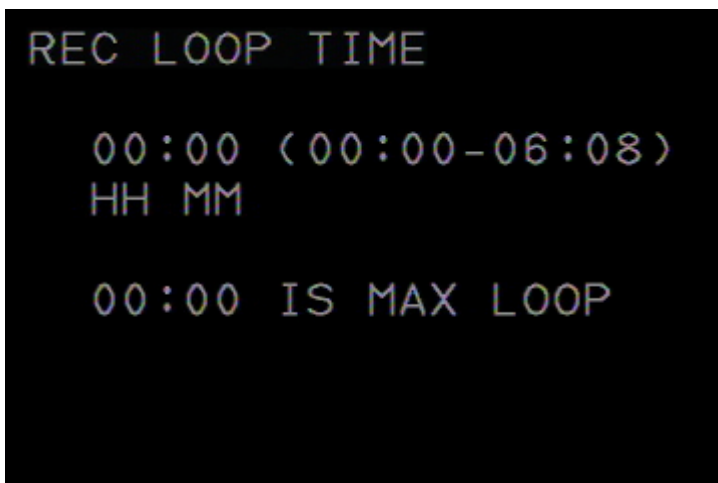
○FADE⇒音の立ち上がりに FADE をかけるかどうかの設定をします。

5.) - 3 USER MENU - REC MODE



5.) - 3. - 1 USER MENU - REC MODE - REC LOOP TIME

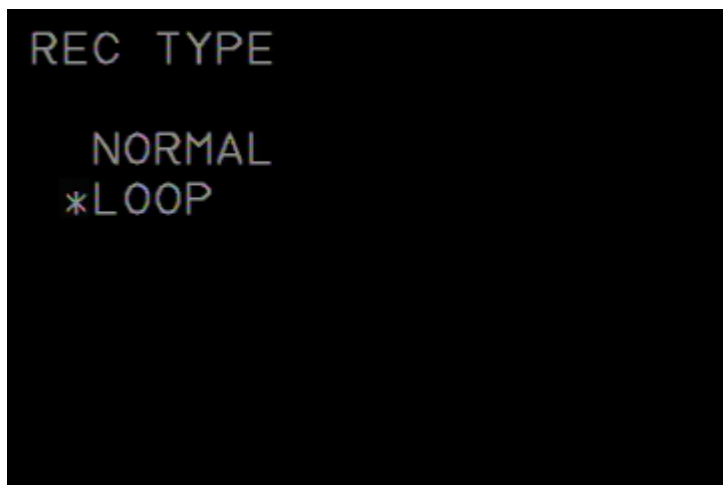
●ループ録画の折り返し時間を設定します。



○00:00 で最大時間（残時間全て）になります。

5.) - 3. - 2 USER MENU - REC MODE - REC TYPE

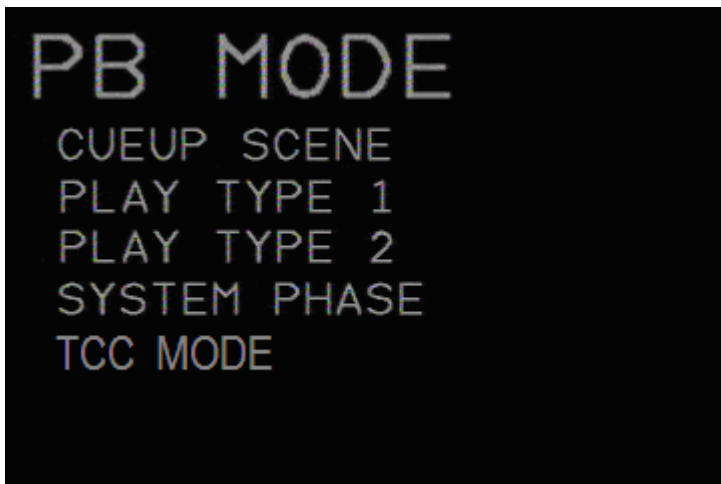
●これから録画するシーンの録画属性を設定します。



○NORMAL => 通常シーン。始点～終点まで。

○LOOP => REC LOOP TIME で指定された時間でループ録画をします。

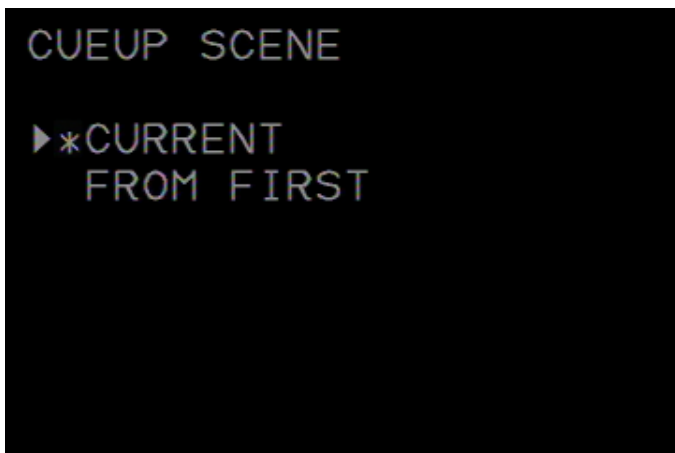
5.) - 4 USER MENU-PB MODE



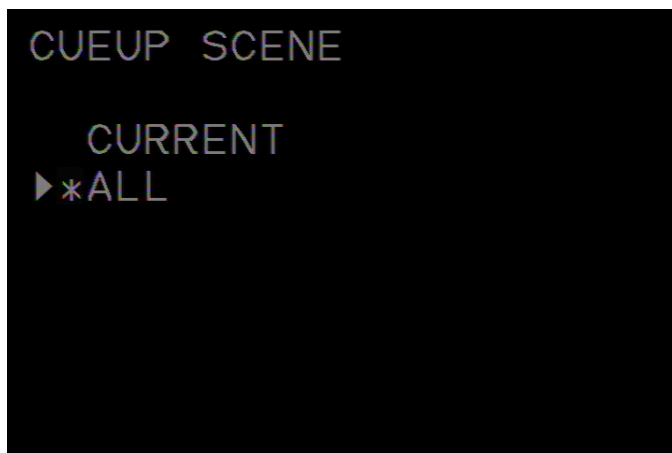
※「TCC MODE」メニューは、TCC オプションを適用されていない VDRH-700 シリーズでは、表示されません。

5.) - 4. - 1 USER MENU - PB MODE - CUEUP SCENE

●CUE UP 動作をどのように行うかを指定します。



※標準版の場合



※TCC オプション搭載版の場合

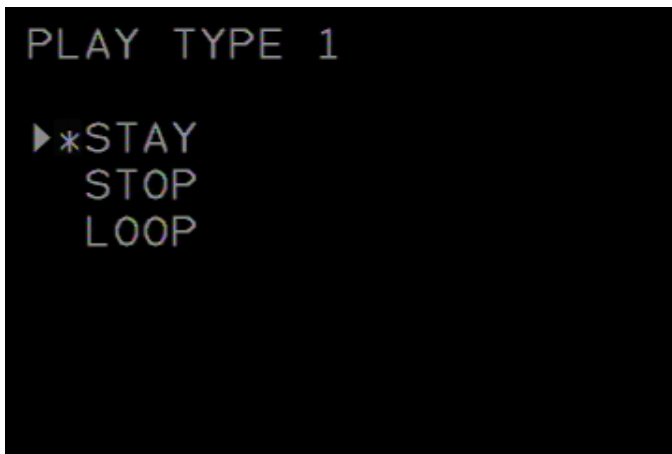
○CURRENT => 現在再生で選択されているシーンを探して CUE UP します。

○FROM FIRST => シーン 0001 から該当する TC を探して CUE UP します。最初に見つけた TC で STILL します。

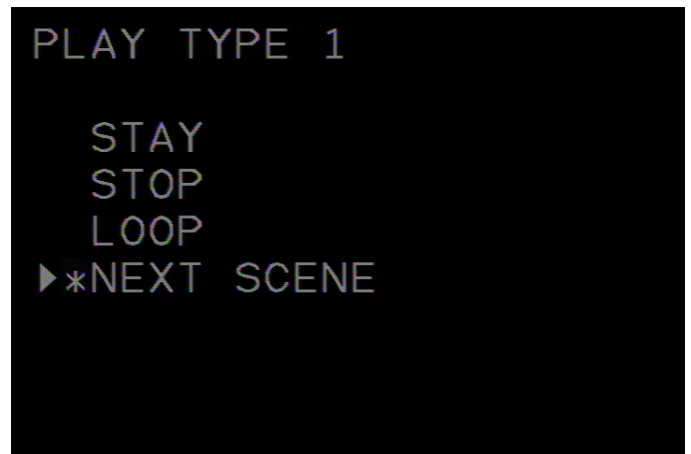
○ALL => カレントシーンを検索し、見つからなければ次のシーン、その次のシーン、・・・最後のシーン、最初のシーン、2 番目のシーン、カレントシーンの1つ手前の順に検索を行います。見つからなければ、最後に再生したフレームで Still します。

5.) - 4. - 2 USER MENU - PB MODE - PLAY TYPE 1

●シーン再生時、終端での動作を指定します。



※標準版の場合



※TCC オプション搭載版の場合

○STAY => STILL します。

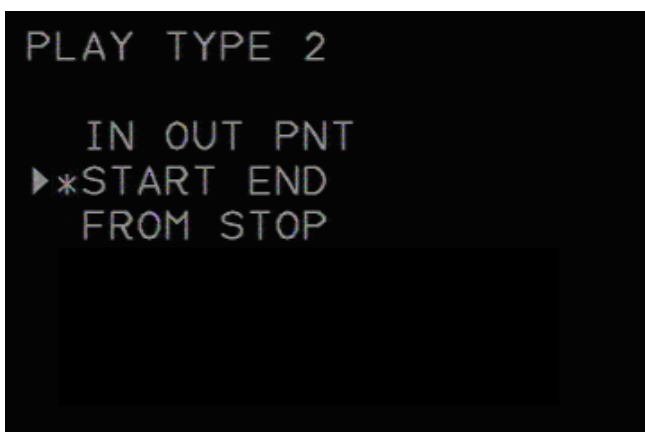
○STOP => 停止します。出力は MONITOR OUTPUT で指定します。(EE OR BLACK)

○LOOP => シーンの始めに戻ってシームレスに再生します。

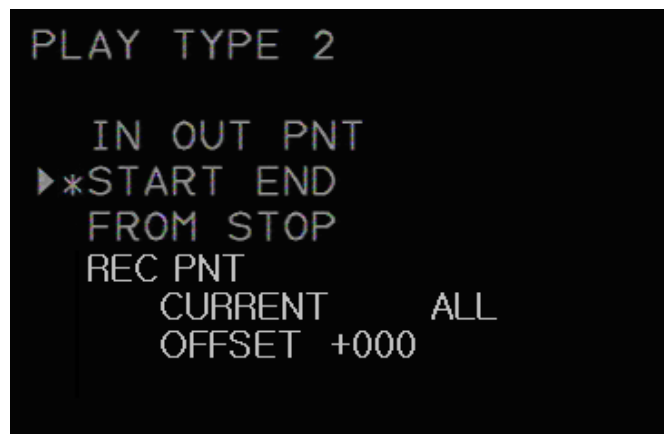
○NEXT SCENE => 次のシーンをシームレスに再生します。

5.) - 4. - 3 USER MENU - PB MODE - PLAY TYPE 2

●シーンの再生開始・終了点を指定します。



※標準版の場合



※1 秒時差対応オプション搭載版の場合

○IN OUT PNT => IN 点から OUT 点までを再生します。

(アプリケーションから登録された、そのシーンのクリップ番号1番に該当)

○START END => シーン開始点から再生開始し、そのシーンの終端まで再生します。

○FROM STOP => 前回再生停止した地点から再生開始し、そのシーンの終端まで再生します。

シーンを変更した場合は、シーン開始点から再生開始になります。

○REC PNT => Ach が収録中の場合、収録点から再生を開始します。(※1)

; CURRENT = カレントシーン(※2)が収録中シーンの場合は収録ポイントを、それ以外のシーンの場合は、最後に停止したポイントと呼び出します(FROM STOP と同様の動作)。

ALL = カレントシーンがどのシーンでも、収録中シーンの収録ポイントと呼び出します。

※カレントシーン:

; OFFSET = この数値を設定すると、操作を行った TC から任意のフレーム数分ずらしたポイントと呼び出せます。(-150f(-5s)~+30(+1s)f)(※3)

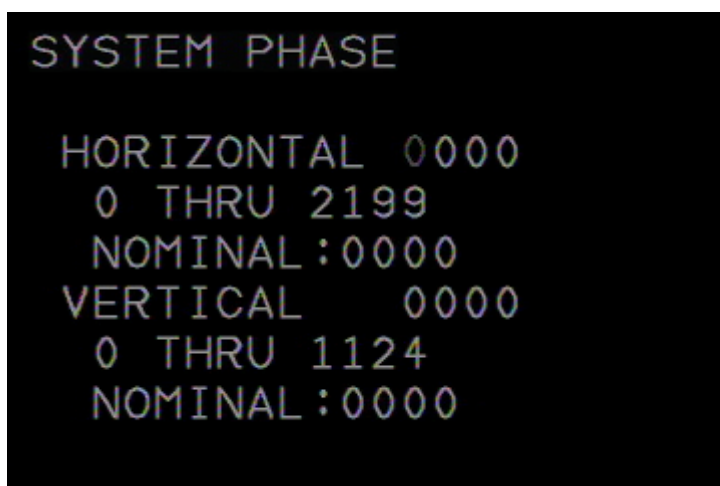
※1) 1 秒時差対応オプション搭載の場合のみ

※2) カレントシーンとは、最後に再生されたシーン。ただし、収録開始操作直後は、収録中シーンがカレントになります。

※3) 再生時差を指定するものではありません。再生開始点を設定するものです。

5.) - 4. - 4 USER MENU - PB MODE - SYSTEM PHASE

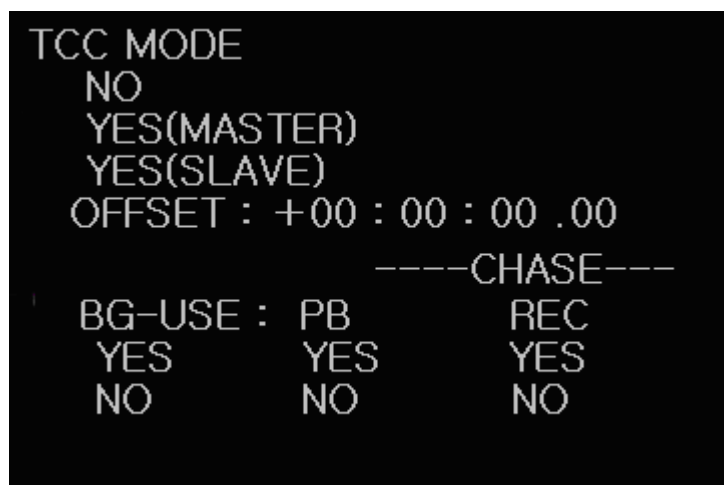
●システムフェーズの設定です。



○HORIZONTAL => 水平方向のフェーズを調整します。単位はクロックです。

○VERTICAL => 垂直方向のフェーズを調整します。単位はラインです。

●TIME CODE CHASE 機能の設定をします。(TCC 機能をご利用頂くには、別売オプションが必要です)



○TCC MODE

NO => TC CHASE の機能を使用しません。

YES (MASTER) => MASTER/SLAVE MODE での MASTER 機として動作します。

※GRADE2 版では、この項目は表示されません。

YES (SLAVE) => STAND ALONE MODE または、MASTER/SLAVE MODE での、SLAVE 機として動作します。

STAND ALONE MODE と MASTER/SLAVE MODE の切り替えは、後述の BG-USE の項目で設定します。

以下は、TCC MODE を “YES (SLAVE)” に設定した場合にのみ表示されます。

○OFFSET => TC CHASE 再生中に、指定した Frame を遅らせる/進ませる設定をします。

+で映像を進め、-で映像を遅らせます。単位はフレームです。

○BG-USE => バイナリグループのデータ領域を、TC CHASE 用に使用するかの設定をします。

YES にすると、MASTER/SLAVE MODE の SLAVE として動作します。

NO にすると、STAND ALONE MODE の SLAVE として動作します。

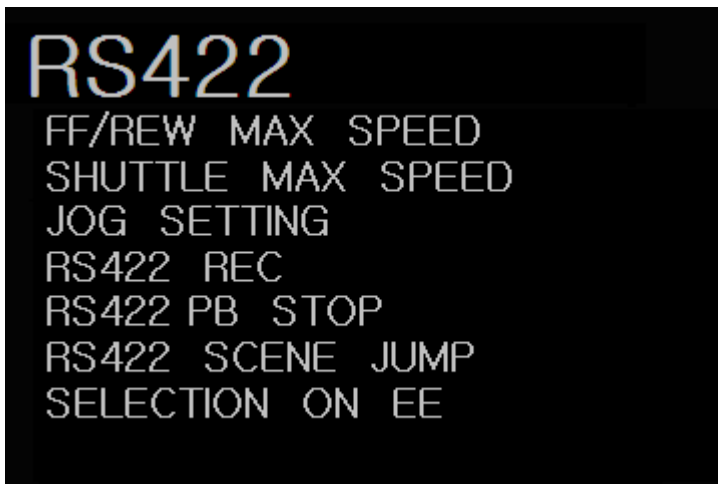
●PB (CHASE) => BG-USE を使用する場合に、設定可能です。

YES にすると、MASTER 機の再生に連動して、自動的に CHASE モードに入ります。

●REC (CHASE) => BG-USE を使用する場合に、設定可能です。

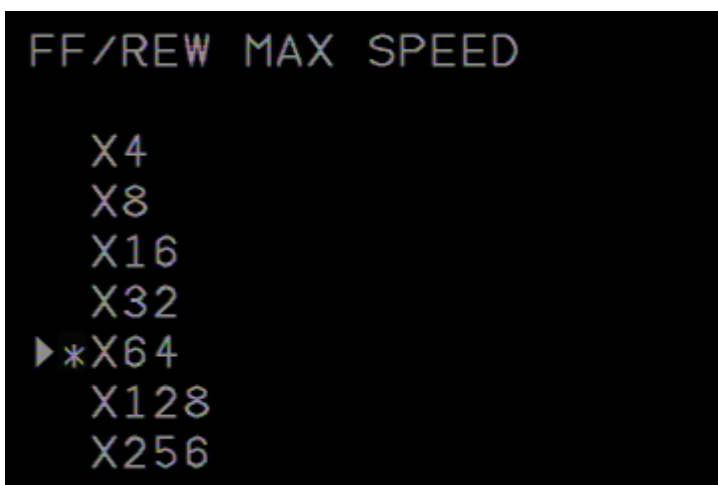
YES にすると、MASTER 機の収録開始に連動して、自動的に CHASE モードに入ります。

5.) - 5 USER MENU - RS-422



5.) - 5. - 1 USER MENU - RS422 - FF/REW MAX SPEED

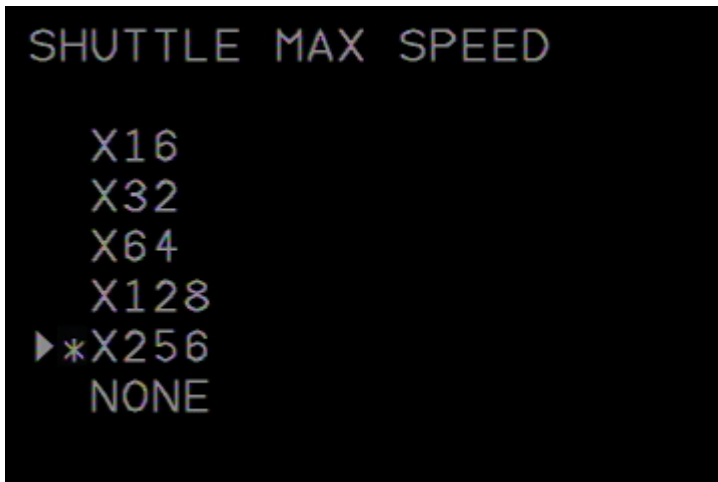
●コントローラから FF REW 命令がきた場合、速度をいくりにするかの設定です。



○ディスクシステムでは、高速の早送り、巻き戻しが可能です。

5.) - 5. - 2 USER MENU - RS422 - SHUTTLE MAX SPEED

●シャトル操作での最大スピードを設定します。



○コントローラから設定以上のスピードが来ても、最大値に貼り付けます。

5.) - 5. - 3 USER MENU - RS422 - JOG SETTING

●ジョグ・スピードの最大値と速度倍率を設定します。



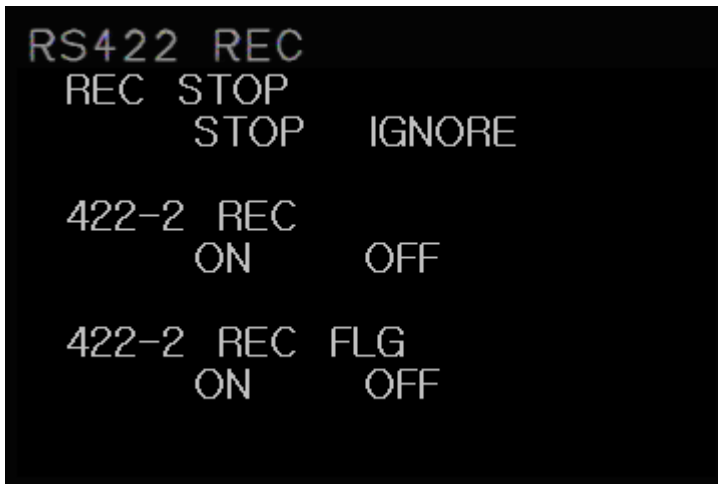
○MAX => コントローラから設定以上のスピードが来ても、最大値に貼り付けます。

○SPEED => コントローラから送られるジョグのスピードに、この倍率をかけます。
設定範囲は、x0.30～x5.00(0.05Step)です。

○START => STILL 状態から JOG を回し始めるときコントローラから送られるスピードに、この倍率をかけます。設定範囲は、x0.20～x1.20(0.05Step)です。

5.) - 5. - 4 USER MENU - RS422 - RS422 REC

●コントローラからの収録動作に関する設定です。



○REC STOP => 422-1 に接続されているコントローラから STOP 命令がきた場合に録画を停止するかの設定をします。

○422-2 REC => 422-2 に接続されているコントローラから、REC 開始命令がきた場合に録画を開始/停止します。

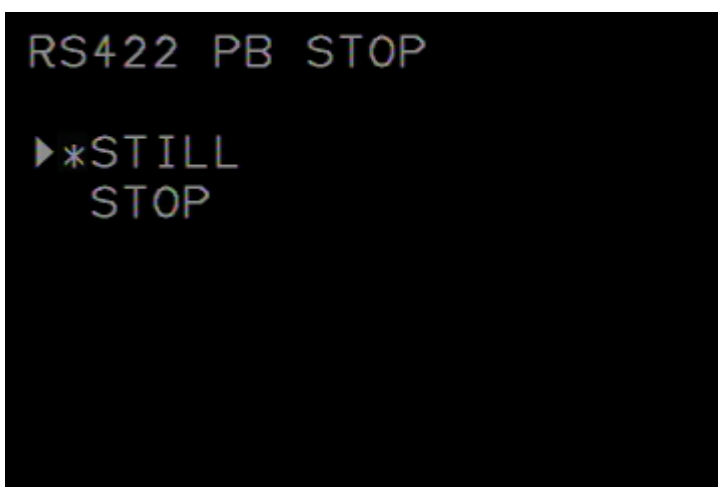
○422-2 REC FLG => 422-2 に接続されているコントローラに、REC ステータスを返すかの設定をします。

※この機能を ON にした場合に、再生動作が正常に機能しない場合があります。

動作確認済みコントローラ：DNF 社 ST-300

5.) - 5. - 5 USER MENU - RS422 - RS422 PB STOP

●422-2(再生チャンネル)で STOP 命令を受けた時の動作設定です。

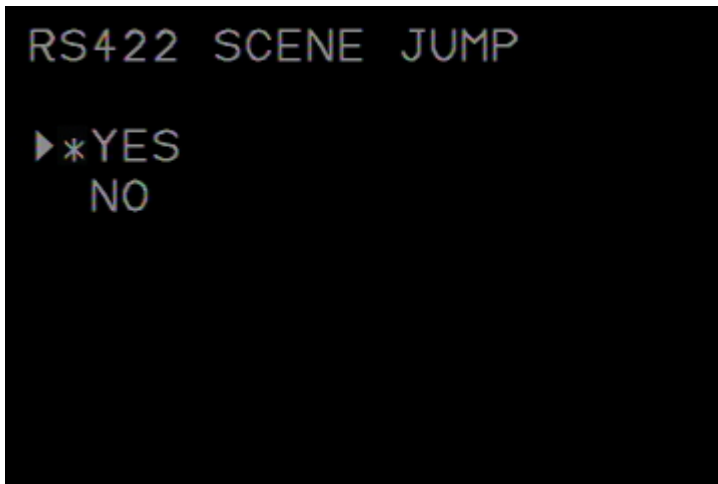


○STILL => 静止状態になります。

○STOP =>停止します。出力は MONITOR OUTPUT で指定します。(EE OR BLACK)

5.) - 5. - 6 USER MENU - RS422 - RS422 SCENE JUMP

●シーン始点で REW、シーン終点で FF を受けた時にシーン移動を許可するかどうかの設定です。

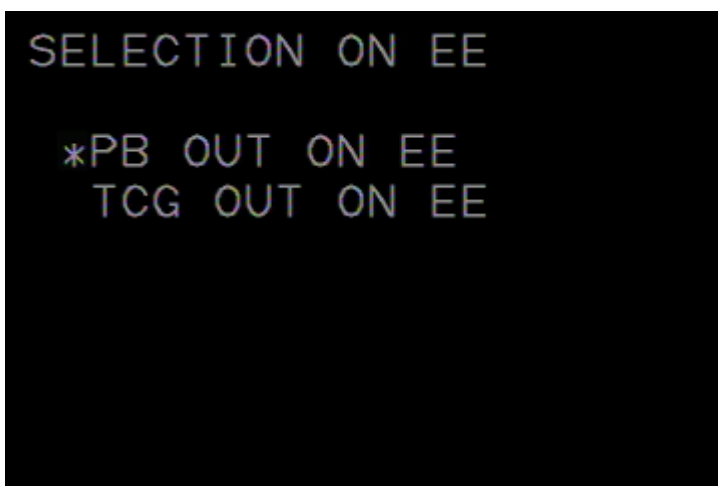


○YES => 使用します。シーン始点で REW を受けると一つ前のシーンの先頭に、シーン終点で FF をうけると次のシーンの先頭に移動(STILL)します。

○NO => 使用しません。

5.) - 5. - 7 USER MENU - RS422 - SELECTION ON EE

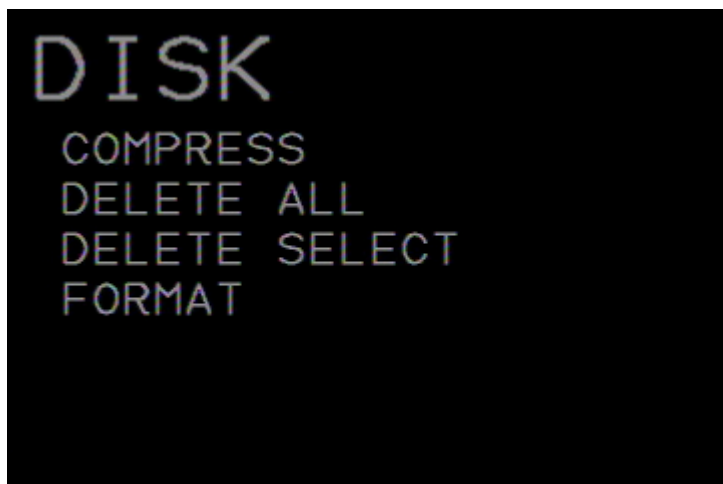
●EE 画面(入力があって、再生が停止している時)TIME CODE に何を出すかの設定。



○PB OUT ON EE => 再生のタイムコードが出力されます。

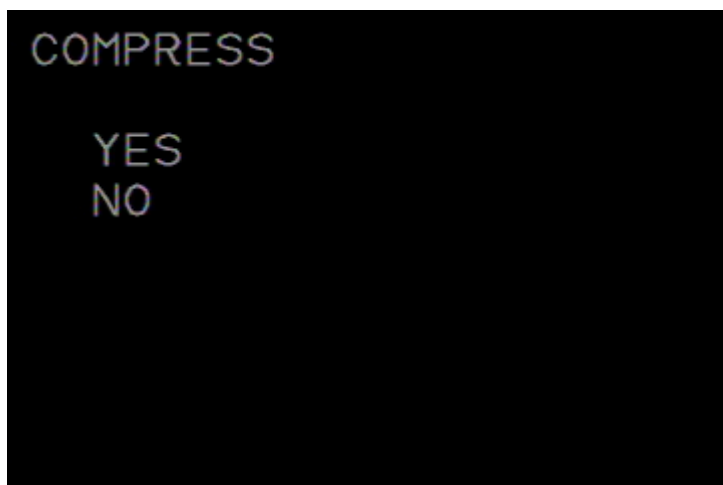
○TCG OUT ON EE => 入力されているタイムコードが出力されます。

5.) - 6 USER MENU - DISK



5.) - 6. - 1 USER MENU - DISK - COMPRESS

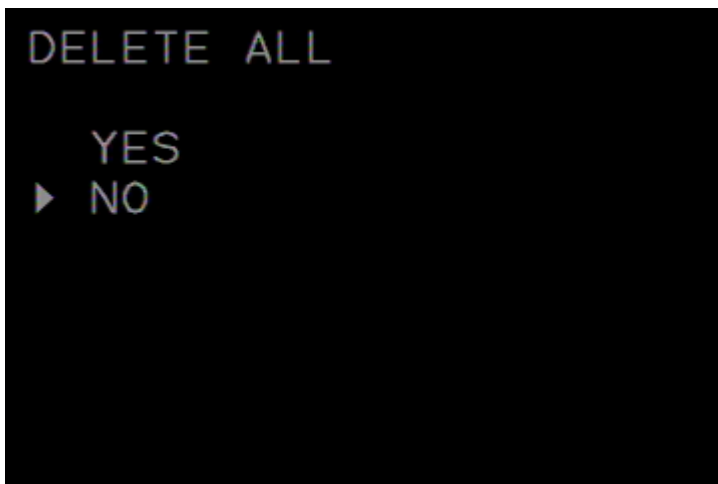
●コンプレスを実行します。



○コンプレスには、移動するシーンの実記録時間の 80%程度の時間を要します。

5.) - 6. - 2 USER MENU - DISK - DELETE ALL

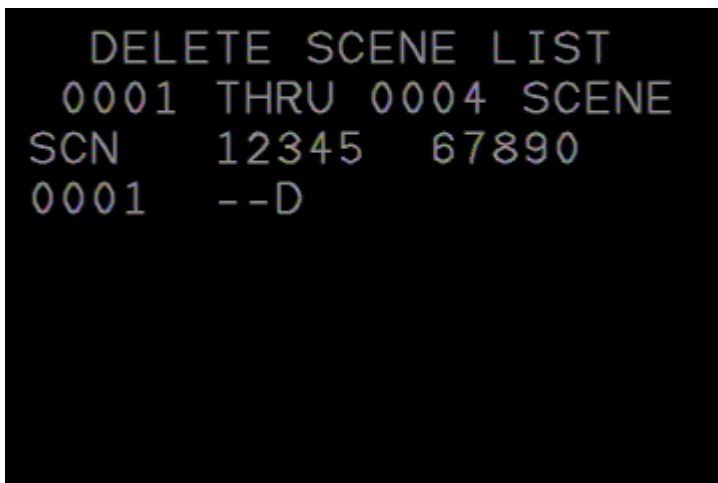
- 現在記録している全てのシーンにデリートマークを付けます。



- 全てのシーンを削除する場合は、本操作を行った後、COMPRESS を実行して下さい。
- 本操作後、DELETE SELECT でデリートマークの解除が行えます。

5.) - 6. - 3 USER MENU - DISK - DELETE SELECT

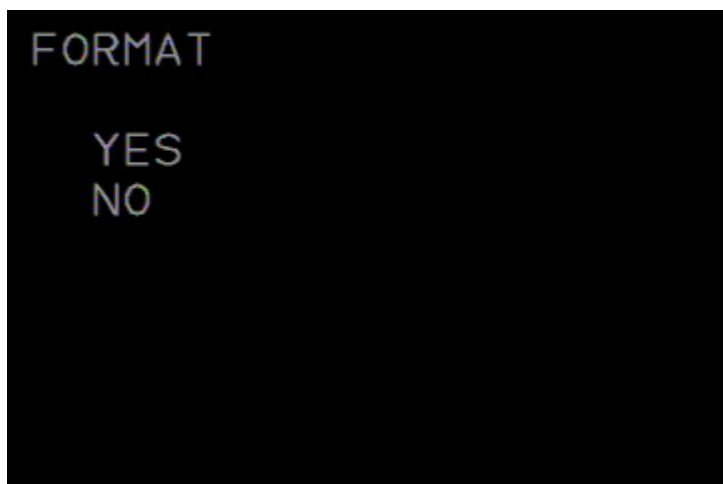
- 記録されている任意のシーンにデリートマークを付けます。



- LAST CUE キーのトグル動作でマーク、マーク解除を行います。
- VAR- VAR+キーでシーンの選択をします。
- 任意のシーンを削除する場合は、本操作を行った後、COMPRESS を実行して下さい。

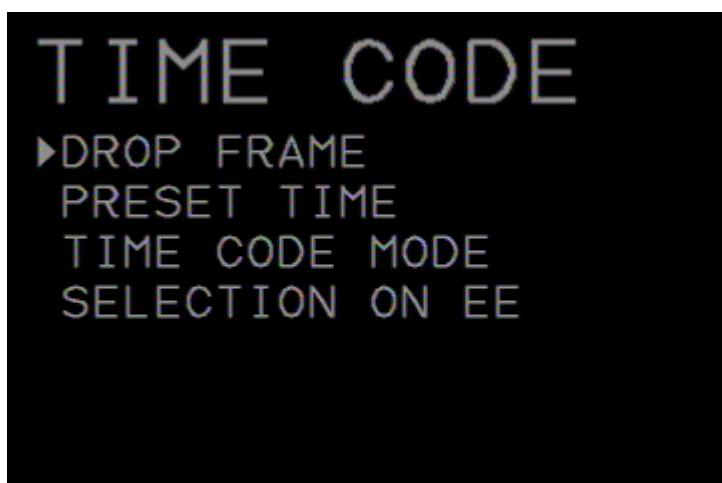
5.) - 6. - 4 USER MENU - DISK - FORMAT

●ディスクをフォーマットします。全ての記録は消去されます。



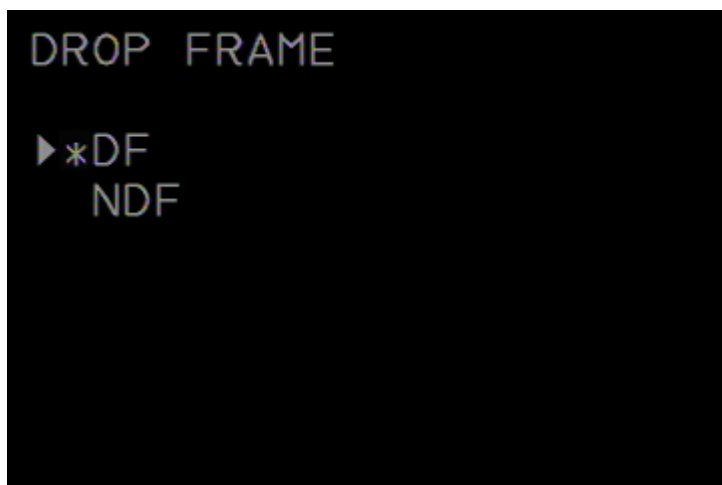
○全ての記録が消去されます。操作は慎重に行ってください。

5.) - 7 USER MENU - TIME CODE



5.) - 7. - 1 USER MENU - TIME CODE - DROP FRAME

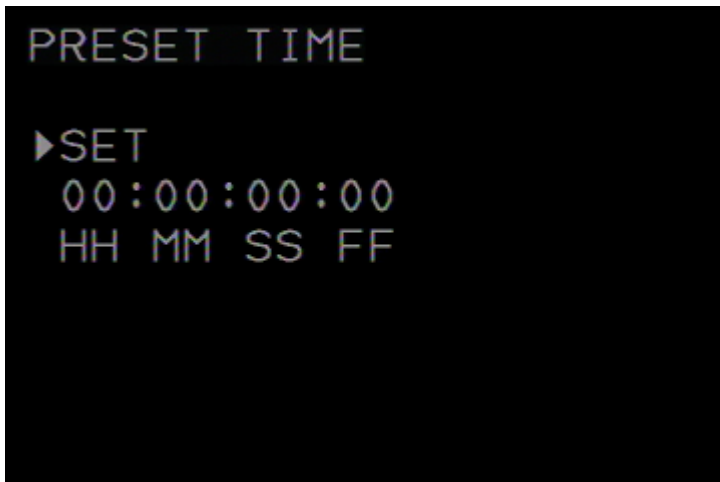
●DROP FRAME 、NNONDROP FRAME の設定を行います。



○設定に基づいて、タイムコードが記録されます。

5.) - 7. - 2 USER MENU - TIME CODE - PRESET TIME

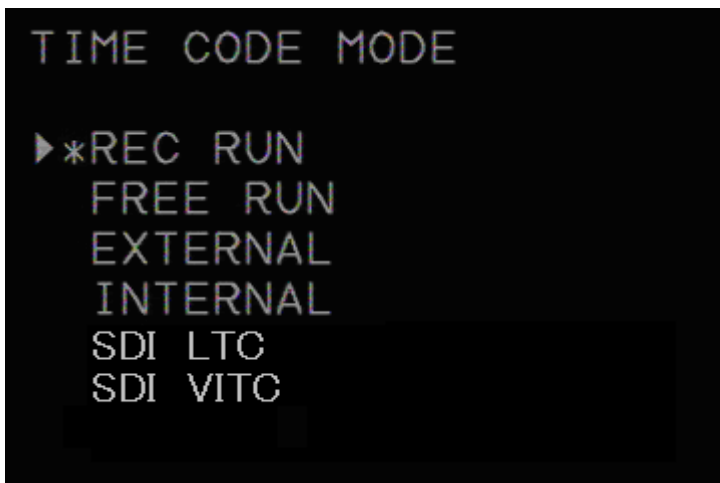
- タイムコードをプリセット（強制的に設定値にする）します。



- TIME CODE MODE が、FREE RUN、REC RUN の場合に有効です。

5.) - 7. - 3 USER MENU - TIME CODE - TIME CODE MODE

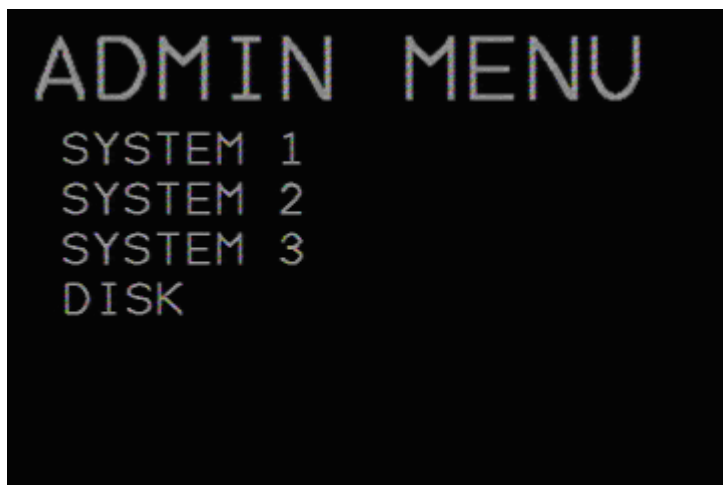
- タイムコードモードを選択します。



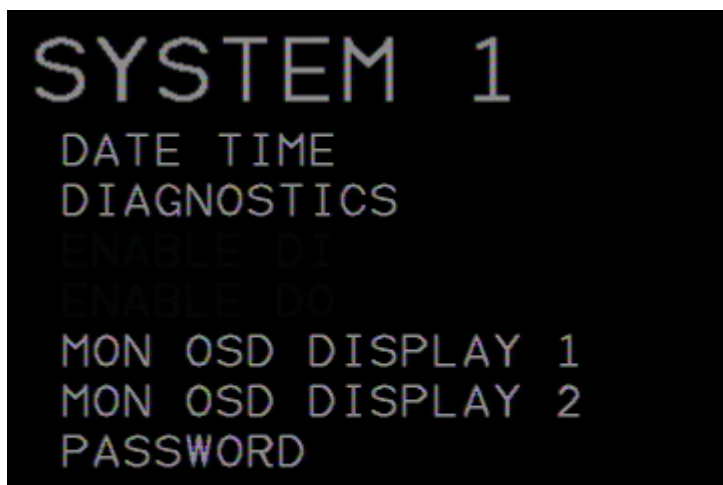
- REC RUN => プリセット値から、記録している場合のみ積算カウントします。
- FREE RUN => プリセット値から、積算カウントします。記録していない時もカウントします。
- EXTERNAL => 外部タイムコードを使用します。
- INTERNAL => 本体内蔵のリアルタイムクロックを使用します。
- SDI LTC => SDI に重畳された LTC を使用します。
- SDI VITC => SDI に重畳された VITC を使用します。

6.) ADMIN MENU

●アドミニストレータ（管理者）専用メニューです。

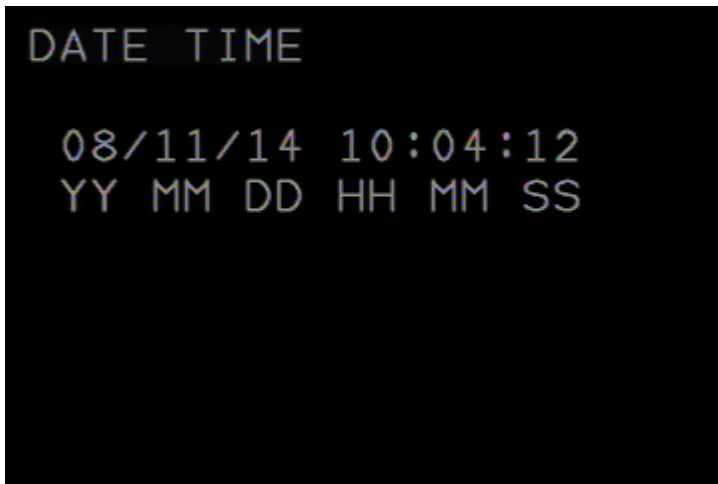


6.) - 1 ADMIN MENU - SYSTEM 1



6.) - 1. - 1 ADMIN MENU - SYSTEM 1 - DATE TIME

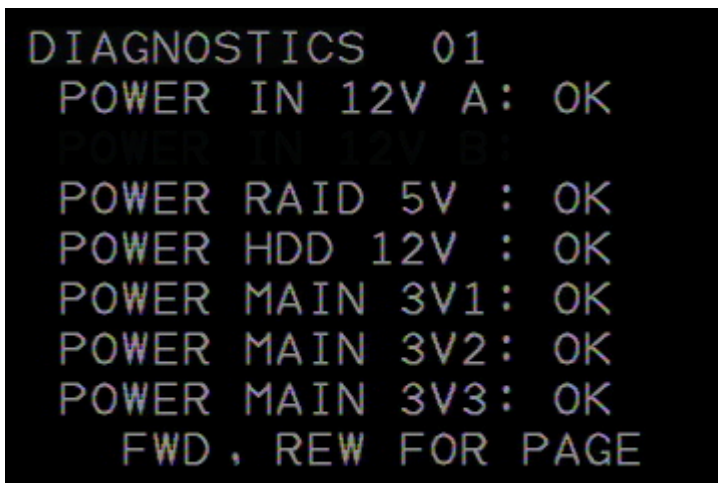
●内蔵リアルタイムクロックを合わせます。



○REC キーで数値+、PLAY キーで数値-、VAR+キーで項目右移動、VAR-キーで項目左移動

6.) - 1. - 2 ADMIN MENU - SYSTEM 1 - DIAGNOSTICS

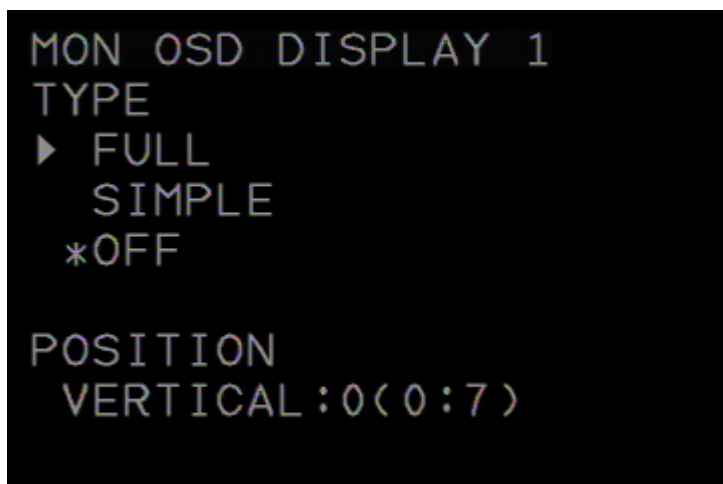
●自己診断の結果表示です。



○電圧、温度、ハードウェアの装着状態、ディスク状態などが表示されます。

6.) - 1. - 3 ADMIN MENU - SYSTEM 1 - MON OSD DISPLAY 1

●NTSC モニタの表示設定です。



○TYPE FULL => 全ての情報を表示します。

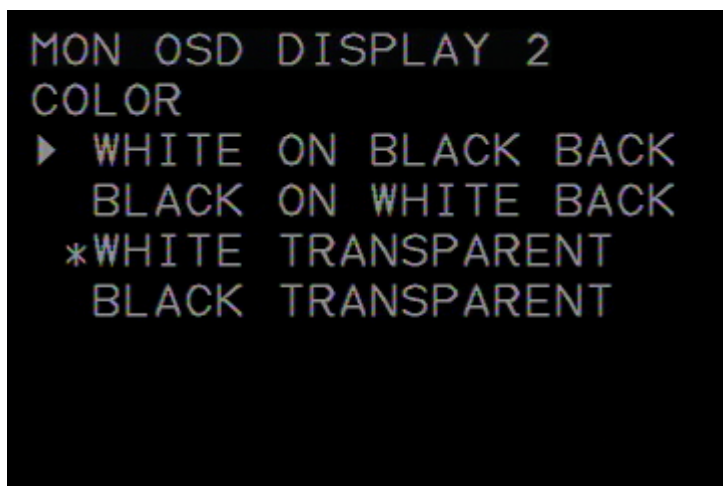
○TYPE SIMPLAE => 再生状態、現在の選択シーン、タイムコードのみ表示します。

○TYPE OFF => 何も表示しません。画像をキャプチャーする場合は、このモードでお使い下さい。

○POSITION => 垂直表示位置を調整します。

6.) - 1. - 4 ADMIN MENU - SYSTEM 1 - MON OSD DISPLAY 2

●NTSC モニタの表示文字の設定です。



○WHITE ON BLACK BACK => 黒バックに白文字

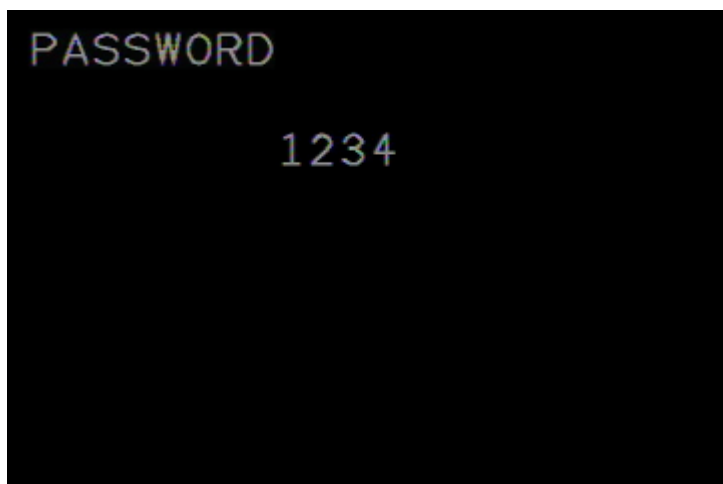
○BLACK ON WHITE BACK => 白バックに黒文字

○WHITE TRANSPARENT => 白透過文字

○BLACK TRANSPARENT => 黒透過文字

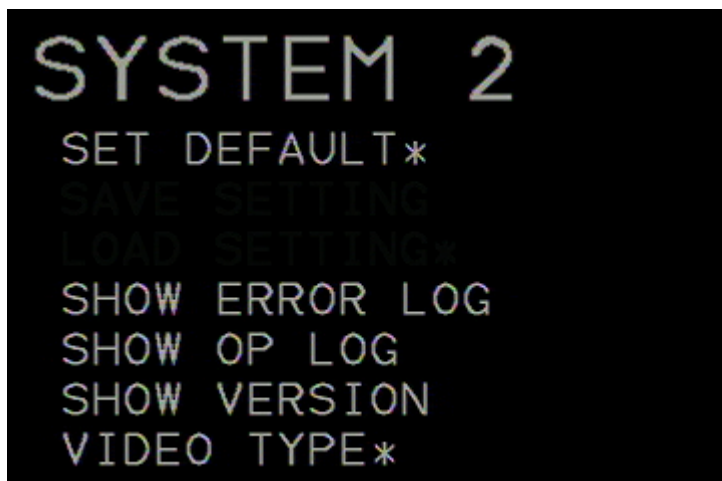
6.) - 1. - 5 ADMIN MENU - SYSTEM 1 - PASSWORD

●TCP/IP でアプリケーションと通信をする場合のパスワードを設定します。



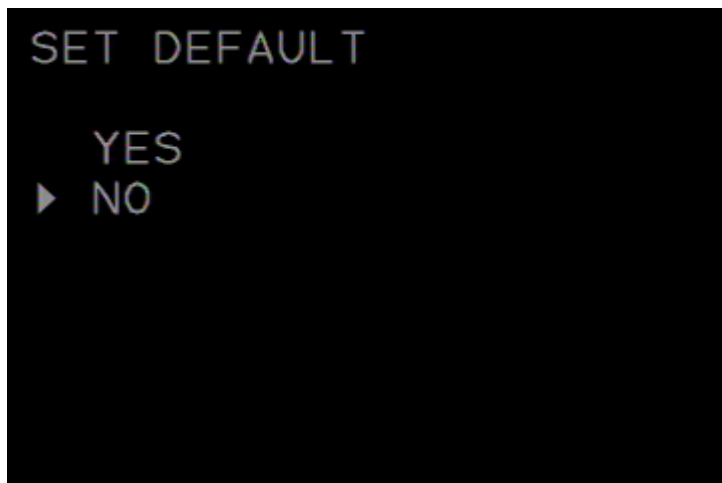
○REC キーで数値+、PLAY キーで数値-、VAR+キーで項目右移動、VAR-キーで項目左移動

6.) - 2 ADMIN MENU - SYSTEM 2



6.) - 2. - 1 ADMIN MENU - SYSTEM 2 - SET DEFAULT

●工場出荷時設定に戻します。記録された映像はそのままです。



○選択後は、電源の再投入が必要です。

6.) - 2. - 2 ADMIN MENU - SYSTEM 2 - SHOW ERROR LOG

- エラーログを表示します。

```
SHOW ERROR LOG NO.0001
YYMMDD HHMMSS SSJJNNNN
081114 093313 03040015
081111 150948 03040015
081111 150948 03040015
081108 153358 03040027
081108 153358 03040026
081108 120130 02040007
▶FWD/REW ,MENU FOR EXIT
```

- 発生日、発生時刻、エラー内容の順に表示します。
- エラー内容については、別紙エラーコード表を参照して下さい。

6.) - 2. - 3 ADMIN MENU - SYSTEM 2 - SHOW OP LOG

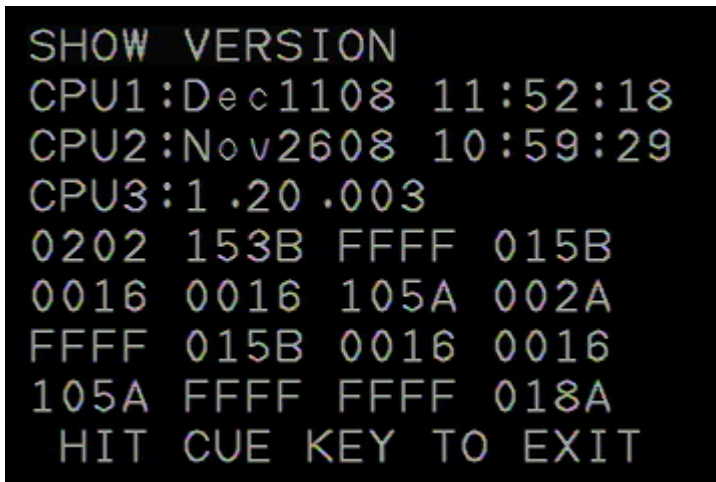
- オペレーションログを表示します。

```
SHOW OP LOG       NO.0001
YYMMDD HHMMSS SSCC00II
081114 100553 01043048
081114 100545 01043047
081114 100534 01043046
081114 100521 01043045
081114 100508 01043038
081114 100502 01043038
▶FWD/REW ,MENU FOR EXIT
```

- 操作日、操作時刻、操作内容の順に表示します。
- 操作内容については、別紙 OP コード表を参照して下さい。

6.) - 2. - 4 ADMIN MENU - SYSTEM 2 - SHOW VERSION

- ファームウェアのバージョンを表示します。

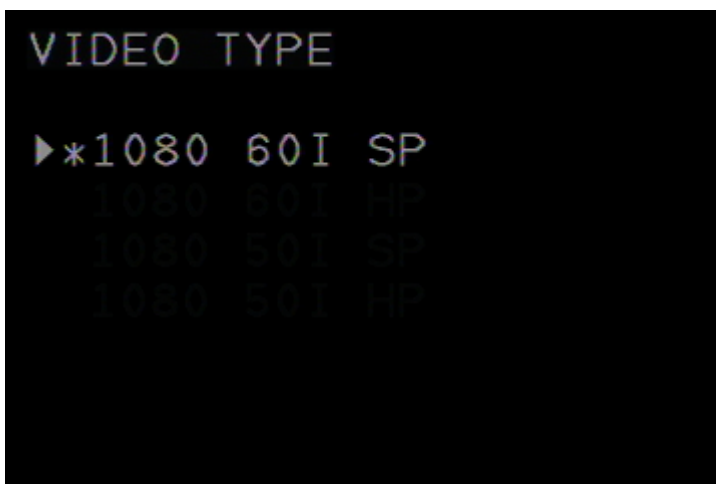


SHOW VERSION
CPU1:Dec1108 11:52:18
CPU2:Nov2608 10:59:29
CPU3:1.20.003
0202 153B FFFF 015B
0016 0016 105A 002A
FFFF 015B 0016 0016
105A FFFF FFFF 018A
HIT CUE KEY TO EXIT

- メンテナンス専用です。

6.) - 2. - 5 ADMIN MENU - SYSTEM 2 - VIDEO TYPE

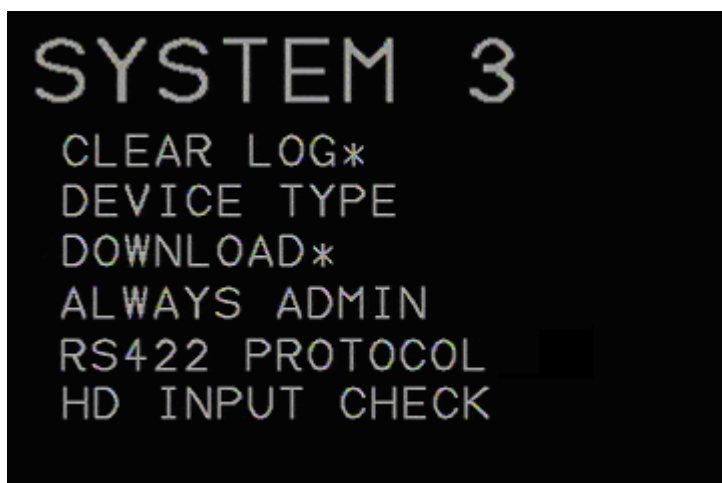
- ビデオタイプを選択します。



VIDEO TYPE
▶*1080 60I SP
1080 60I HP
1080 50I SP
1080 50I HP

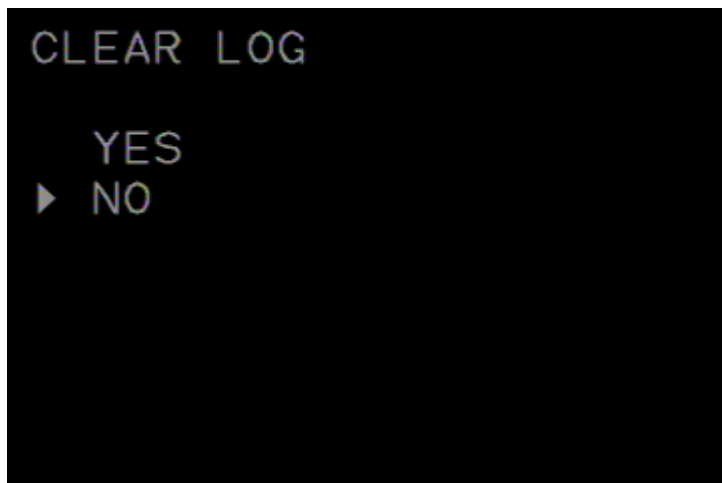
- 1080/60i (59.94i) が選択されています。
- 1080/50i 720P 対応予定です。

6.) - 3 ADMIN MENU - SYSTEM 3



6.) - 3. - 1 ADMIN MENU - SYSTEM 3 - CLEAR LOG

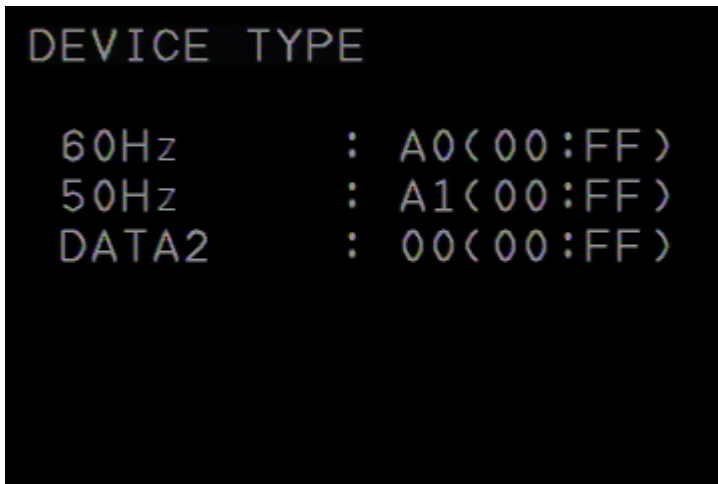
●エラーログ、オペレーションログをクリアします。



○クリア後は、電源の再投入が必要です。

6.) - 3. - 2 ADMIN MENU - SYSTEM 3 - DEVICE TYPE

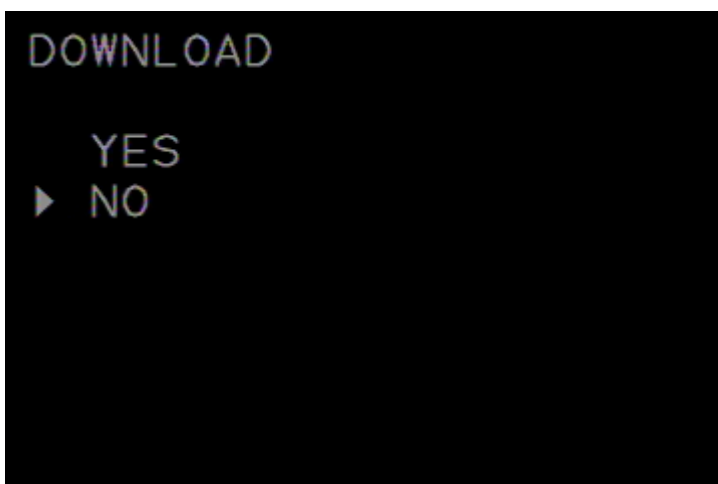
●SONY 製コントローラが認識する、本機のデバイスタイプを指定します。



○最適化されています。ビデオレコーダの設定にすると、本機的能力を損なうことがあります。

6.) - 3. - 3 ADMIN MENU - SYSTEM 3 - DOWNLOAD

●ファームウェアをイーサネットから更新します。

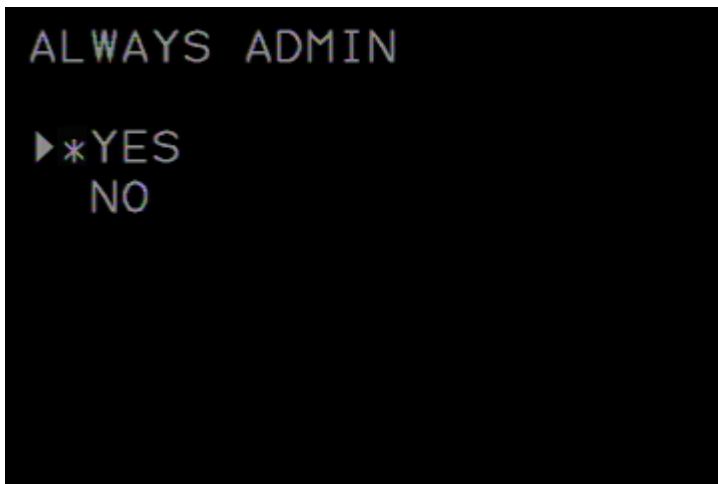


○専用ソフトウェアが必要です。

○管理者専用です。

6.) - 3. - 4 ADMIN MENU - SYSTEM 3 - ALWAYS ADMIN

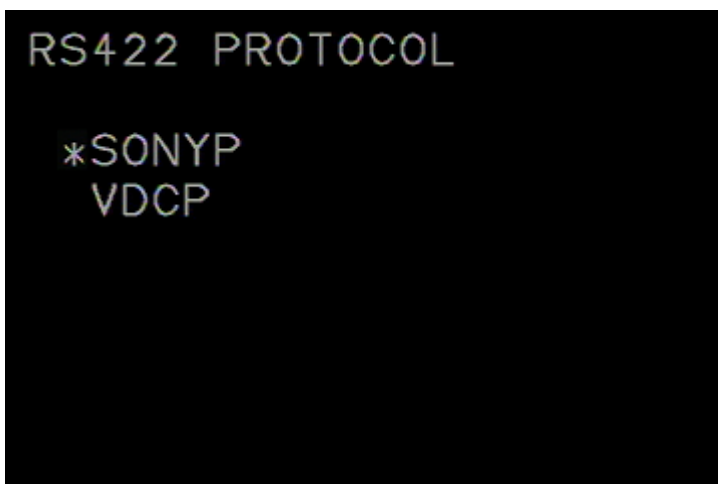
- 立ち上げ時に「REC」「PLAY」「LAST CUE」の3つ押しでADMINメニューが出現します。
- 毎回上記操作をしたくない場合、ALWAYS ADMIN をYES にしておけば、ADMIN MENU が表示されます。



○管理者専用です。

6.) - 3. - 5 ADMIN MENU - SYSTEM 3 - RS422 PROTOCOL

- 9 ピンのプロトコルを選択します。

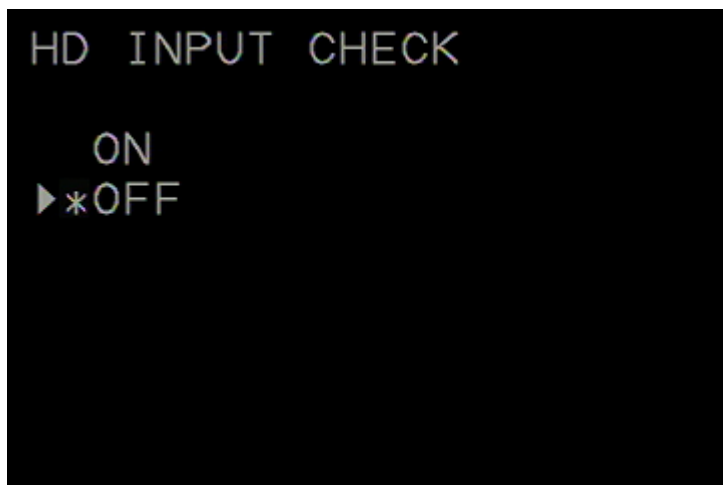


○SONYP => SONY PROTOCOL で制御します。

○VDCP => VDCP で制御します。

6.) - 3. - 6 ADMIN MENU - SYSTEM 3 - HD INPUT CHECK

●入力信号を確認するかを指定します。

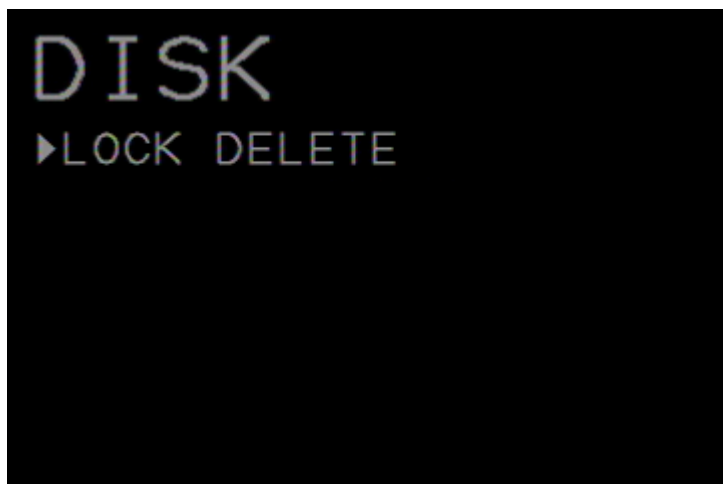


REC ボタン押下による入力確認の際に、

○ON => NTSC、HD-SDI 信号ともに入力信号を出力します。

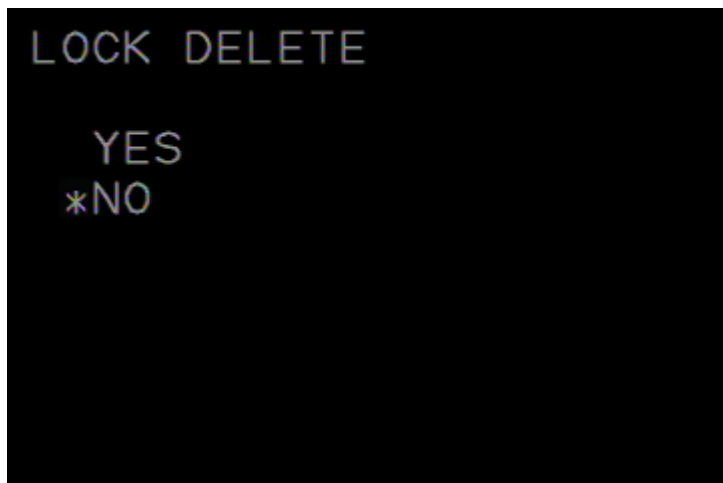
○OFF => NTSC は、入力信号を出力します。HD-SDI は、再生であれば、再生信号を出力します。

6.) - 4 ADMIN MENU - DISK



6.) - 4. - 1 ADMIN MENU - DISK - LOCK DELETE

●デリートマークの操作を不能にします。



○大切なシーンを保護する場合等に使用します。

2 1. タイムコードチェイスモードについて（別売オプション）

TC CHASE (タイムコードチェース)は、RS-422 や Ethernet 等の外部コマンドを利用するのではなく、他の機器から受信したタイムコードソースに追従して、記録されている映像素材を再生する同期再生機能です。

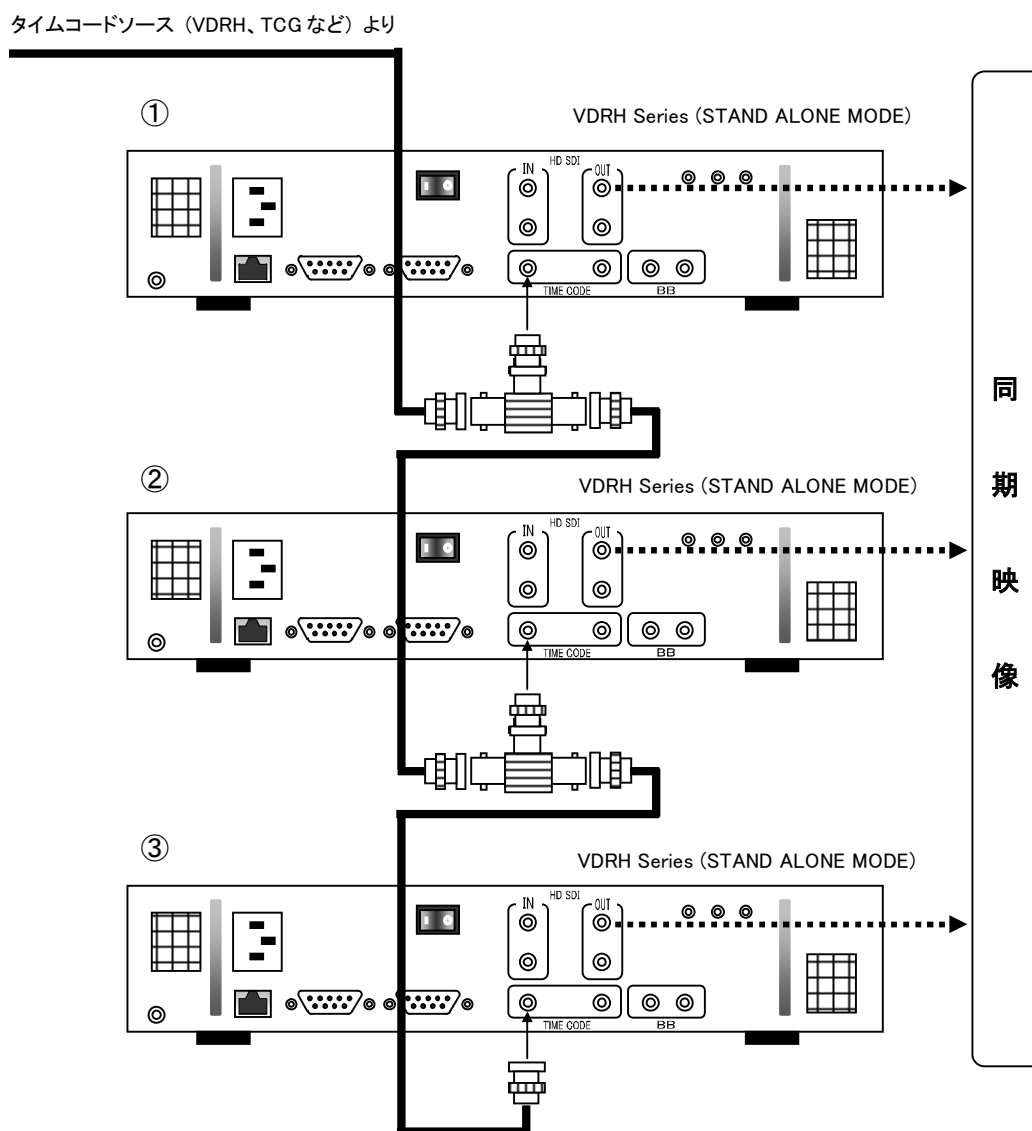
TC CHASE 機能の仕様や制限、注意事項などは、別冊の「VDRH Series タイムコードチェイス 仕様書」を、必ずご参照の上ご利用下さい。ここでは、簡単な設定項目と、操作方法などを記します。

1.) STAND ALONE MODE

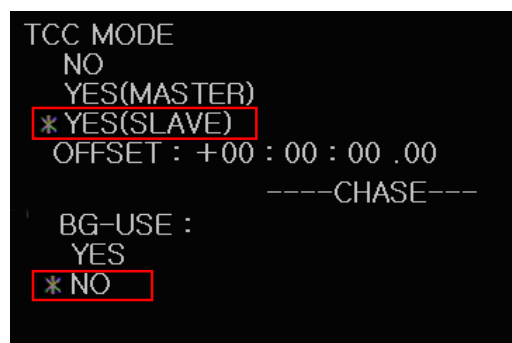
STAND ALONE MODE は、下図のように構成し、全ての VDRH(①②③)が STAND ALONE MODE で動作し、TCG などのタイムコードソースより送出されるタイムコードに同期して全ての VDRH の映像が出力されます。この場合、全ての VDRH(①②③)は TC CHASE のスレーブ^{※1}として動作します。

STAND ALONE MODE は、タイムコードソースとして、VDRH の他に TCG(タイムコードジェネレータ)などの汎用装置を使用することが出来ます。

接続例)



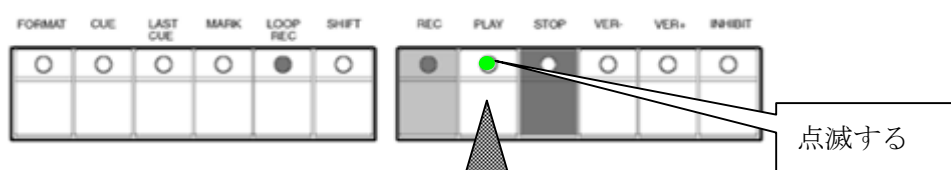
●STAND ALONE MODE の設定



○TCC MODE => YES(SLAVE)

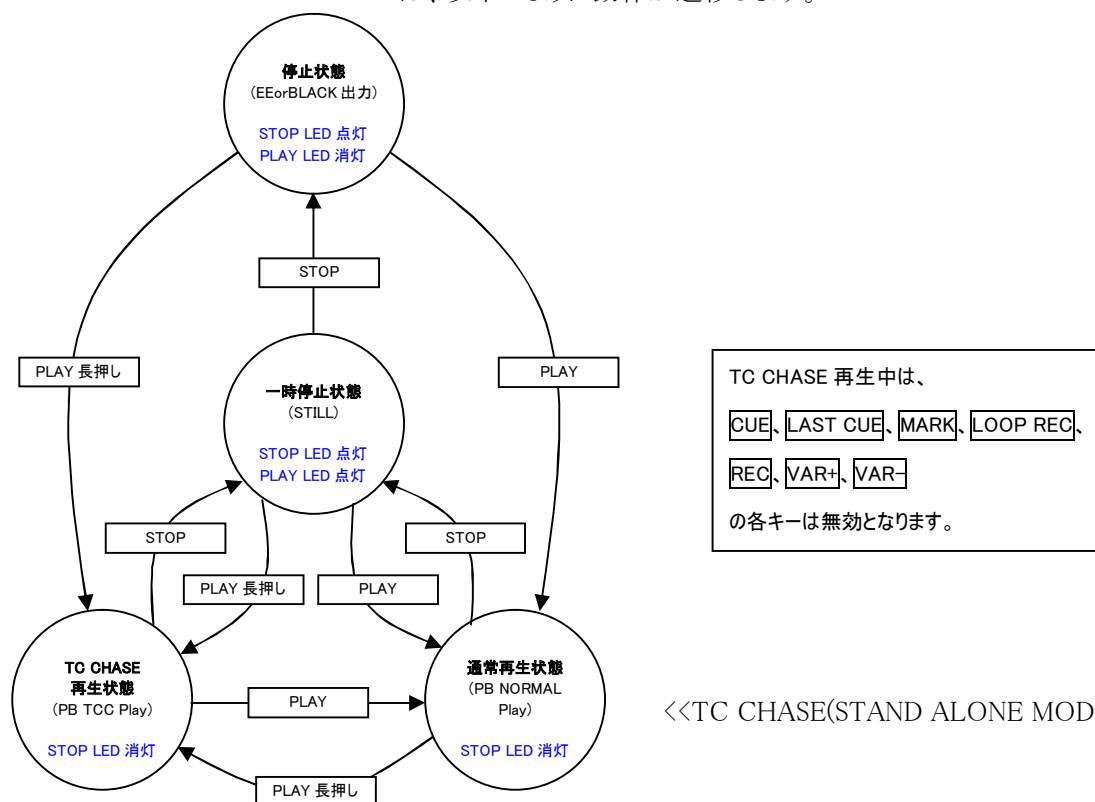
○BG-USE => NO

●TCチェイスの開始



○ PLAY ボタンの長押しで TC CHASE を開始します。

○ STAND ALONE MODE の VDRH は、以下のように動作が遷移します。



<<TC CHASE(STAND ALONE MODE)の動作遷移図>>

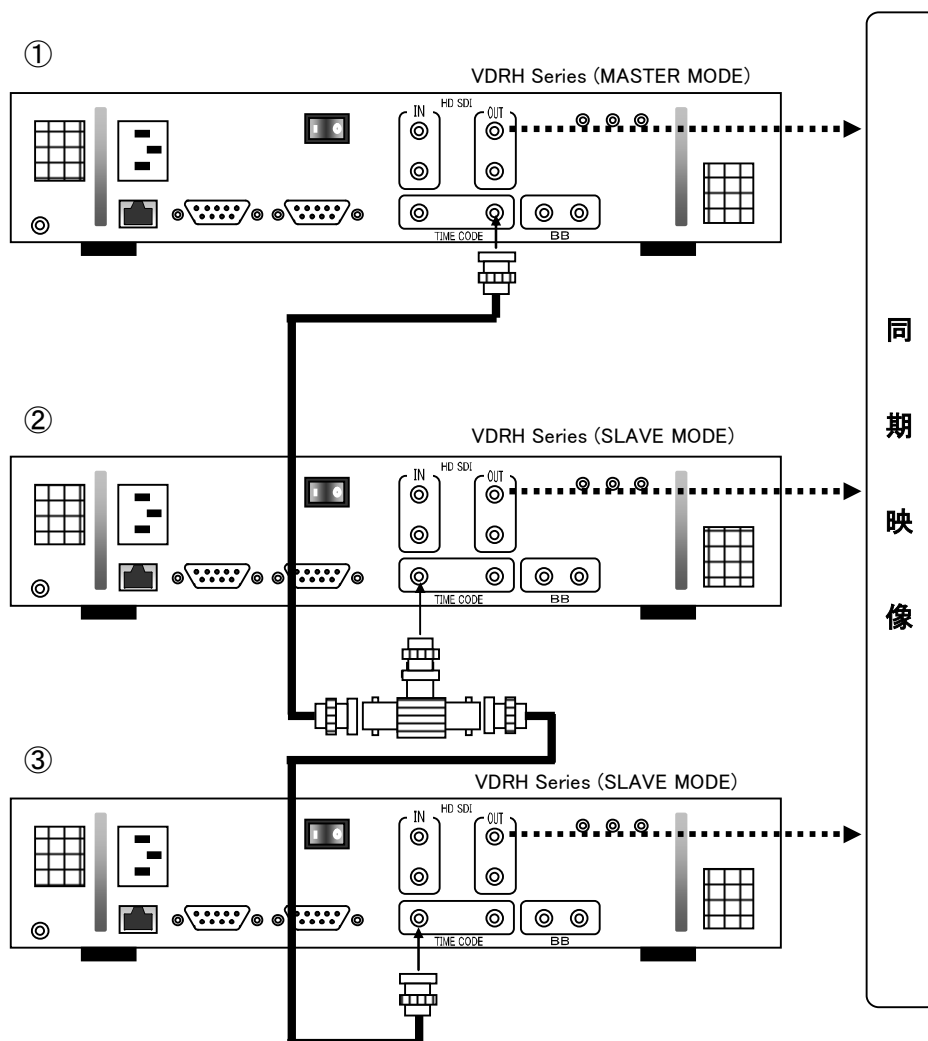
※STAND ALONE MDOE で TC CHASE を行うには、TCG などのマスターが出力するタイムコードと同一のタイムコードを持つ映像素材を予めスレーブ側に録画しておく必要があります。また、タイムコードが不連続点を含まないように録画しなければなりません。不連続点があると、補正の有効／無効が切り替わり、映像跳びや音の途切れが発生します。

2.) MASTER/SLAVE MODE

MASTER/SLAVE MODE は、下図のように構成し、MASTER MODE で動作する VDRH(下図の①)の再生映像に付随して記録されているタイムコードに同期して、SLAVE MODE で動作する VDRH(下図の②③)の映像が出力されます。この場合、MASTER MODE で動作する VDRH(①)は TC CHASE のマスター、SLAVE MODE で動作する VDRH(②③)は TC CHASE のスレーブとして動作します。

MASTER/SLAVE MODE では、MASTER となる VDRH が、SMPTE12-1999 のバイナリグループを使用して独自のコマンドを生成し SLVAE に送信することにより、STAND ALONE MODE には無い機能を持ちます。

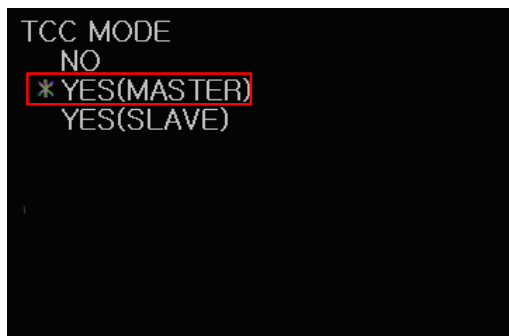
接続例)



●MASTER/SLAVE MODE の設定

<MASTER 機>

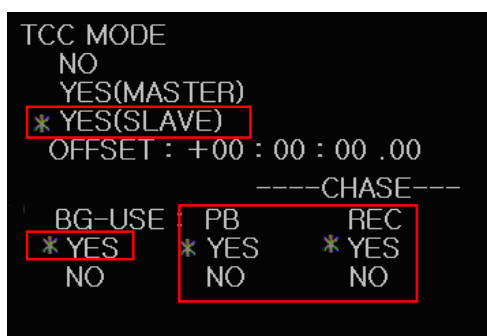
USER MENU - PB MODE 2 - TCC MODE



○TCC MODE => YES(MASTER)

<SLAVE 機>

USER MENU - PB MODE 2 - TCC MODE



○TCC MODE => YES(SLAVE)

○BG-USE => YES

●PB/REC => 任意

●TCチェイスの開始

REC CHASE 機能を使用する場合、MASTER 機の REC を開始すると SLAVE 機も REC を開始します。

PB CHASE 機能を使用している場合、MASTER 機を通常通り使用するだけで、自動で SLAVE 機の TC CHASE 再生が開始されます。※動作の中には、正しく追従しないものがあります。

PB CHASE 機能を使用していない場合、SLAVE 機は、STAND ALONE MODE と同様に操作する必要があります。

※MASTER/SLAVE MODE での MASTER 機は、タイムコードに加えて、この録画開始日付を SLAVE 機に送信します。SLAVE 機側で再生すべきフレームを検索する時、タイムコードだけでなく、日付の一致も確認します。これは、複数のシーンに跨ってチェイスする場合、タイムコードの重なりがあっても正常にチェイスできるようにするためです。従って、MASTER/SLAVE MODE で動作させる場合は、MASTER 機、SLAVE 機ともに、日付と時刻を合わせておく必要があります。「ADMIN MENU→SYSTEM→DATE TIME」で合わせて下さい。

サービスに関するお問い合わせは

株式会社 オンテック

ビデオコミュニケーションビジネスユニット
開発技術部

TEL：03-5759-0557

FAX：03-5434-0517

〒141-0031 東京都品川区西五反田3丁目13番2号 光洋ビル 4F

※本書に記載されている内容を実行したことにより発生したいかなる損害に対しても、弊社は責を負いかねます。

何らかの不都合により、正常に録画・再生ができなかった場合の補償、録画・編集した内容（データ）の消失、及び
直接間接の損害に対して、弊社は一切の責任を負いません。予めご了承下さい。

※本書の内容は改定のため予告なく変更されることがありますので予めご了承下さい。